

大学ジャーナル

FREE

vol.144 10月号

第26巻4号・通巻144号

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374
E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE
http://univ-journal.jp

Highlight

03 2022年9月に創立130年を迎える
学校法人松蔭女子学院
神戸松蔭女子学院大学

04 Society5.0のWell-beingのために
STEAMの学びで、
未来を切り拓く力を

その1 特別寄稿
21世紀、学びの主演は君だ!
中島 さち子 氏

その2 対談
個に応じたSTEAM教育を
—教育の構造変容に期待

経済学者 西村和雄 先生 ×
社会学者 杉本厚夫 先生

06 あらためて どうなる?
これからの大学入試
特別寄稿1
大丈夫?英語資格・検定試験の
個別選抜での活用促進

特別寄稿2
どうなる2025年度入試!?
—新しい教科「情報」をめぐって

連載 16歳からの大学論
特別編 STEAM Association 設立!
「無知の知」の体現こそ
京都大学准教授 宮野公樹 先生

08 奨学金特集

14 大学ジャーナルオンラインから

16 新しい教育への挑戦
東京都市大学の
新ファンクション(機能)プログラム
ゲームチェンジ時代の
製造業を切り拓く
「ひらめき・こと・もの・ひと」
づくりプログラムとは?その3
PBL授業「ひらめきづくり(1)」

大学トップから高校生へのメッセージ

「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」の4つの精神を大学憲章とし、独自の歩み続ける横浜国立大学。長年、標語に掲げるInitiative for Global Arts & Scienceは、近年キーワードとされるSTEAM教育にも通じる。みなと横浜を一望する高台に展開する東京ドーム10~11個分ともいわれるキャンパスは、三ツ沢公園と一体となり広大なグリーンベルトを形成し、横浜市にも貴重な環境を提供している。この春、「文理融合」を掲げて改革をリードしてきた前学長を引き継いだのが梅原出先生。いままで進めてきた教育と研究の両方の改革をさらに進化させ、「知の統合」として学生目線の改革を目指す。また今春の個別試験中止を「苦渋の選択だった」と振り返る新学長に、ポストコロナへ向けてのさらなる改革、受験生へのメッセージ等をお聞きした。

文理融合から知の統合へ

世界水準の研究大学を目指して



環境配慮促進法による義務付け前からの「エコキャンパス白書」として発行してきた環境報告書は、2021年で20号目となる。



横浜F・マリノスから寄贈された人工芝と夜間照明設備。また常盤台インターナショナルレジデンスは、建設・運営をすべて外部事業者で実施。経営そのものも外部委託し、「税金を投入せず土地の有効活用を図るという国立大学の新しい手法」と梅原学長。



大学とは

コロナ禍で再認識されたこと、「大学とはコミュニティ」

2020年度は、手探りで始めたオンライン授業等、激動の一年だった。しかも、学生に不自由を強いるだけでなく、前例のない個別試験の中止等で受験生・保護者、高校関係者にも影響を与えるなど、心の晴れる日はなかった。また、これほど「大学とは?」と考えさせられたこともなかったと思う。

キャンパスのメインストリートに学生が一人もいない日が何カ月も続いたことには心が痛み、大学人になって30年、初めてある種の寂寥感も感じた。これまで当たり前とされてきた大学のコミュニティを機能させられないもどかしさもあった。大学とは、教育・研究を通じたコミュニティであることをあらためて痛感した。

同じことは、昨年7月の段階で、本学の規模としてはかなりの寄附金が集まったことでも気づかされた。多くの卒業生からたくさんの支援をいただき国からの助成とは別に千名を超える困窮学生に一人当たり一律5万円を支

給できた。大学とは卒業生も含めたコミュニティなのだ。

今年に入り、キャンパスは昨年度に比べいくらか落ち着きを取り戻している。心配された入試も、大幅な志願者減とはなかったが、5学部すべてから、例年と比べて入学者の状況に変化はないとの報告を受けている。これは予備校等の追跡調査とも符合しているようだ。

予想外だったのは、3月末ギリギリに私の記憶では初めて実施した2次募集で、80名の定員に1300名を超える志

願者が集まったこと。本学が底堅い受験者層に支えられていること、またいかに個別試験が大切かを実感した。来年度入試では安全、安心を担保した上で従来通り個別試験を実施する予定だが、コロナ禍での経験を忘れることなく、今後の大学運営に生かしていきたい。またコロナ禍の影響を一番強く受けている今の2年生に対しては、今後も様々な角度から引き続き温かく見守っていきたい。

横浜国立大学学長 梅原 出先生

Profile

1987年3月富山大学理学部 卒業、1989年3月同大学院理学研究科修士課程 修了。1992年3月筑波大学大学院工学研究科博士課程 修了。1992年4月横浜国立大学工学部 教務職員、1994年4月同 助手、2000年7月同助教授、2009年10月横浜国立大学大学院工学研究科教授、2019年4月横浜国立大学 理事(研究・評価担当)・副学長、2020年4月同(研究・財務・情報・評価担当)・副学長。2021年4月より現職。専門は固体物理学・超伝導・磁性。桃山学院高等学校出身。



企画・広告のお問い合わせは



ユニバースケープ(株)

info@universcape.co.jp まで



独自の教育改革を加速

現行の大学入試制度の中では、首都圏に位置し、かつ後期日程の定員を多く維持している大学としては、入学した学生にいかにか教育力を高めるかは長年の課題だ。本学では前期日程、後期日程それぞれによる入学者について、入試の成績と在学時の成績の相関を調べてきた。ここで明らかなのは、入学後、どれだけしっかり勉強するかが卒業時の成績を左右することだ。地頭が良かったり基礎学力がしっかり身についた学生が多いのだから、当然と言えば当然だが、そこでキャリア教育の導入も含め、10年ぐらい前から教育改革を加速してきた【下コラム参照】。今や、企業からも高い評価を得ているから(※1)、冷静に出口まで見通せば、決して最難関校にひけを取らないとの自負がある。

入学後の科目も工夫している。私の専門は物理だが、多くの学生にとっては、社会に出て何の役に立つのかが見えにくい学問かもしれない。手に取るようにわかる機械系などとは好対照だ。そこで1年のうちから、『物理学と先端技術』などと銘打って、企業から技術者を外部講師として招き、物理を学んでおくと企業に入ってからどれだけ役に立つかを講義し



てもらっている。もはや、物理に入ったから物理しかしないのではすまされない時代でもある。また、神奈川県とタイアップし、全学部を対象とした半期で15回、県の職員による『神奈川のみらい』も開講している。

PBL (Project based learning:課題解決型学習などと訳される)など、調べて発表する授業も増やしている。どれも学科単位による地道な取組だが、こうした努力が徐々に実りつつある。

※1 「人事が見るイメージランキング【日経HR調べ】」では、2020年2位、2021年6位

新たに二つの方針を加え、知の統合を進めたい

学長就任時に新たに立てた方針は二つ。一つは《小さな大学》としての強みを発揮すること。5学部6大学院体制で10,000人の学生を抱えながらなぜ?と思われるかもしれないが、本学は教職系、工業系、商業系の3つの専門学校が戦後まとまってできた大学で※2、文学・医学などはカバーしていない。つまり大規模総合大学とは違うという意味だ。そこで、自前でないものは外に求める、つまり他大学との連携に徹していくべきだと考えている。「オープンサイエンス」「オープンイノベーション」※3がキーワードとされる今は、その絶好のチャンスではないか。特に力を入れているのが理工連携。理工学部では「副専攻プログラム(医工学)」も設ける。今の医療は産業界の提供する機械なしでは成り立たない。まさに100年の伝統を有する本学の工業系の出番ではないかと思っている。

第2の方針は、地域との連携の強化。横浜市、神奈川県にある本学だが、今後はそれを強みとする意識をより強化していきたい。地方国立大学(東京からの距離感でそう呼ぶとして)の多くは、法人化(※4)以降、生き残りをかけ地域との連携強化に涙ぐましい努力をしてきた。本学の場合、

首都圏にあって地方をイメージしにくい分、これまで以上にその意識を高め、さらに取組を強化していかなければならない。神奈川県は長洲一二知事以来、科学技術政策においては、KSP(サイエンスパーク)、やKISTEC(神奈川県立産業技術総合研究所)等の開設など、先進的な取組をしてきているから連携のメリットは大きい。神奈川ローカルの連携は世界へつながる可能性を秘めている。

一方で神奈川県は、横浜、川崎、相模原という3つの政令都市とともに、三浦半島や県西には過疎と高齢化に悩む地域もかかえる。スケールが大きく、直面する課題も様々で、ある意味で日本の縮図とも言える。地域のこのような課題先進性ともいべき特性に、本学の教育・研究をいかにコミットしていくか。それをつきつめていくことは、日本、世界にコミットしていくことにつながるはずだ。

もちろん基礎自治体の横浜市ともしっかり連携していきたい。これまで各教員による連携は様々あったが、大学全体として、より強化したいと考えている。

全国区で基礎研究を担保するという国立大学の原則はこれまで通り尊重しながら、小回りを利かした地域連携にもバランスよく取り組んでいきたい。

※2 1876年設置の横浜師範学校(後に神奈川師範学校)、1920年設置の横浜高等工業学校(後の横浜工業専門学校)、1923年設置の横浜高等商業学校(後の横浜経済専門学校)。
 ※3 大学や企業が、より大きな成果を狙って、単独ではなく他と連携して行う科学研究やイノベーションに向けた取組を指す。
 ※4 2004年4月以降、それまで文部科学省の直轄組織だった国立大学は、それぞれ独立大学法人に移行した。

入試について

先ごろ、10年近くに及んだ大学入試改革論議は、そこで示された改革案を各大学が個別試験の中で実現することと結論付けられたようだ。もちろん入試改革が止まったわけではない。ただ現段階では、個別試験が重要であるということ以外にコメントはできない。

選抜方法の多様化については、たとえば教員志望者が受験する教育学部では、教員になりたいという意欲も含めて総合的に評価するのはいいと思う。一方、理工系では、たとえば一般的に数学のできない物理学者はいないように、学部によって必要な学力を担保しそれを測る入試を考えていきたい。

また、本学の学生が首都圏にある私立大学の学生と比較して大人しいことを捉えて、理系でもアピール能力、コミュニケーション能力を入試で問うようにしてはどうかというような意見も学内にありますが、コミュニケーション能力は学会での発表の機会を増やすなど、大学へ入ってからでも鍛えることができる。入試方法は、あくまで育てたい学生像から考えるべきだし、入試だけではなく、入学以降の教育改革にも引き続き力を入れていきたい。

受験生へのメッセージ

知の統合と世界水準の研究大学を目指しているから、しっかり学問、研究に打ち込みたいという人に目指してほしい。環境は抜群。新たに本学の名称の付いた駅(※5)もできて東京へも直結するようになり、首都圏生活に触れることもできる。

私自身の受験時代を振り返ると、浪人時代も含め様々な思い出はあるが、やはり大事なのは大学へ入ってからだとつくづく思っている。大学でできることは勉強だけではない。入ってから楽しく大学生活を送れるように、けして受験をゴールとは思わないことだ。

高校、大学時代を通じて勧めたいのは読書。乱読でもいい。私は学校の勉強では、数学・物理は好きだったが本ばかり読んでいた。しかしそれが今、大いに役立っている。

※5 羽沢横浜国大駅:2019年11月30日開業。相鉄、JR直通線の共同使用駅。

先進的な文理融合を図る大学院「先進実践学環」は、「応用AI」「社会データサイエンス」「リスク共生学」「国際ガバナンス」「成熟社会」「人間力創生」「横浜アーバニスト」の7つのユニークな研究テーマを設け、文系の学生は理系を、理系の学生は文系を学べるというように、これまで縦割りの多かった大学院に横串を刺す。「もちろん他大学にも『学部・研究科等の組織の枠を越えた学部プログラム』はあるが、学年定員42名と規模が大きい」と梅原学長。学部教育でも経済・経営の専門性と高度なデータ処理・統計分析を修得した人材を育てるDSEP(Data Science教育プログラム)、法学を中心に経済、経営、データ分析などを幅広く学ぶLBEEP(Lawcal Business Economics教育プログラム)が今春からスタートし、経済学と経営学の両方の専門性と英語による実践的コミュニケーション能力を育成するGBEEP(Global Business and Economics教育プログラム)なども以前から開講している。ただ、「いずれにおいても専門性は担保したい。そうでないと大学で学ぶ意味がない」と梅原学長。



2022年9月に創立130年を迎える学校法人松蔭女子学院 神戸松蔭女子学院大学

横浜に続き1868年1月1日(慶応3年12月7日)に開港し、いち早く世界への扉となった神戸は、東京、横浜、大阪と並び、早くから外国人宣教師等による学校の開設も進んだ。神戸市では2番目に古く開設された松蔭女学校に始まるのが神戸松蔭女子学院大学。2022年9月17日には学院創立130年を迎える。ポスト130年に向けてスタートする新しい取り組みなどについて待田昌二学長にお聞きしました。



キャンパスから六甲アイランド、大阪湾をのぞむ

新しい女子大学の形を求めて

必須のICTスキル、
コロナ禍での経験、試行錯誤も生かしたい

神戸松蔭女子学院大学
待田 昌二学長



女性活躍の社会が推進されているが、女性の置かれている状況はまだ厳しい。その中で安心できる場、落ち着いて学べる場を提供することが、女子大の不変の使命だと思う。

ただ、時代が大きく変わる中で求められるスキルは変化しているので、その対応を急ぎたい。

中でも社会の高度情報化、Society5.0へ向けて、大学の情報化と学生一人ひとりにICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) のリテラシーをつけてもらうことは喫緊の課題だ。ICTは、力も要らないし場所も問われない。ジェンダーレスで、女性に向いている側面も多く、これまでの男性中心の産業構造を変える可能性が期待される。

そこで2022年春からは、入学者全員にPCを保持してもらおうBYOD (Bring Your Own Device: 自分のデバイスを持ち込む) によるICT教育を展開する。そのための教室や自習室の整備も急ピッチで進めている。また全学生に対して、情報技術を理解し、主体的に活用できるようになるとともに、社会の課題を見出して解決方法を提案できる力をつけることを推奨する。具体的には『データ理解と統計科目』と呼ぶ科目群を用意し、2021年後期からは、その第一弾として、全学共通の『現代社会とデータ』がスタートする。

この一年半、本学でも全力でオンライン、ハイブリッド、ハイフレックスによる教育を模索してきたが、こうした経験、試行錯誤がICT教育に弾みをつけてくれたのは確かだ。教員だけでなく、学生も機器やソフトの使い方に習熟したし、ICTの使い方や、ポストコロナにおいても有効な学び方についても数々の示唆を与えてくれたからだ。

一方、『教育の松蔭』のキャッチフレーズのもと、積極的に展開してきたもう一つの柱である課外授業やPBL (Project Based Learning)、地域貢献型や産学連携活動による課題解決型のアクティブラーニングなどは、コロナ禍で停滞を余儀なくされた。ただし、コロナ禍を特殊な要因と考えれば、ここまでの一連の学部の新設・改編も含め、狙いとしてきた教育の質の向上に向けた取り組みは、着実に成果を上げていると手応えを感じている。

コロナ禍はたしかに、ICT教育の推進にとっては追い風ではあったが、教育にとってリアルな効果がいかに大きいかをあらためて認識もさせてくれた。

130年の歴史の中でわれわれは、第二次世界大戦や阪神淡路大震災という大きな災禍を克服してきた。今またコロナ禍という新たな災禍の中にあるが、それを克服して教育の松蔭の歩みを一層加速していきたい。

Be Inspired, Grow and Shine

創立130周年学院スローガン

学院創立130周年の節目の年に、これまでのモットーである“A grain of mustard seed” (一粒のからし種) の成長を動的に表現するスローガンが必要であると新たに作成された。一粒のからし種とは、それに姿かたちを変えながらの成長を期待して神の愛と恵みの息が吹き込まれるならば、やがて鳥が枝に巣を作るほどの

木になるというイエスの約束に由来する(新約聖書「マタイによる福音」)。130周年スローガンには、松蔭女子学院という場での学びと出会いを通して、絶えず自分を見つめ直して古い殻を破り、新しい自分を発見することによって個性を確立し、社会に貢献する、光輝く女性への成長を促すという教育理念を込める。

130周年記念ロゴマーク



130th KOBE SHOINは、神戸市北野町で産声を上げ、130年の歴史を持つ松蔭女子学院を意味する。十字架は人間の弱さや苦しみに寄り添い、人間の罪深さを明らかにするために身代わりとなって亡くなったイエスの十字架。その4つの方向は、Heart・心、Soul・精神、Mind・思い、Body・全身を表わし、心を、精神を、思いを尽くし、全身全霊で神を愛すとともに、人間同士、互いに愛し合うことが最も大切な戒めであることを表す。オリーブの葉は、ノアの方舟から放たれ戻ってきた鳩が口に加えていたもので、大洪水が終わり、世界に再び平和が回復したしるしとされ、円環をなしているのは、神の無限の愛を表わす。



オリジナルの「神戸松蔭タータン」を素材に学生がデザインした洋服。タータンの5色は130年の歴史を象徴。2021年3月にスコットランドの政府機関において、正式なタータンとして登録された。

神戸松蔭タータン



130周年 学院スローガン

Be Inspired, Grow and Shine



2022年、学院創立130周年。

私は、未来を見逃さない。

Open Yourself, Open Your Future

神戸松蔭女子学院大学

Society5.0のWell-beingのために

STEAMの学びで、未来を切り拓く力を

その1 特別寄稿

21世紀、学びの主演は君だ!

(株)steAm 代表取締役社長
(株)STEAM Sports Laboratory 取締役
ジャズピアニスト・数学研究者・STEAM教育者・メディアアーティスト

中島 さち子 氏

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー(「いのちを高める」)。内閣府STEM Girls Ambassador。現在は主に音楽・数学・STEAM(教育)・メディアアートなどの世界で、国内外にて多彩に活動。ニューヨーク大学Tisch School of the Arts, ITP (Interactive Telecommunications Program) 修士。国際数学オリンピック全メダリスト。明治大学先端数理科学インスティテュート(MIMS) / 東京理科大学客員研究員。文部科学省 教育研究開発企画評価協議協力者。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会委員。経済産業省「『未来の教室』とEdTech」研究会研究員。米日財団日米リーダーシッププログラムフェロー。フルブライター。主な著書に『人生を変える「数学」そして「音楽」』『音楽から聴こえる数学』(講談社)絵本『タイショウ星人のふしぎな絵』(絵:くすはらじゅんこ、文研出版)他、主なCDに中島さち子 PianoTRIO "Rejoice" "希望の花"他。フェリス学院高等学校出身。



20世紀終わりから台頭したインターネットは、劇的に世界のあり方を変えました。誰もが簡単にさまざまな知にアクセスできるだけでなく、自ら(出版社やテレビなどを通さずとも)世界に発信でき、表現でき、つながり、創造・共創できる。21世紀には、YouTubeやSNSなども誕生しました。一方向から双方向への時代へ…これは学びのあり方・働き方、そして人々の生き方・文化を大きく揺るがせています。

私は、21世紀は《創造性の民主化時代》と考えます。AI時代とは、一人ひとりがより多様な創造性を発揮できる/すべき時代。ただ、社会構造や文化はまだその時代の流れ・ニーズに追いついていません。そのため、世界では、21世紀初頭からSTEM教育を推進し、何よりも「一方向・知識暗記型の、正解が一つの学び」からの脱却、「探究的な、オープンエンドな(答えが無数の、多様に開いた)問いを扱う学び/実社会や日常の課題を扱うプロジェクト型の学び」への移行を目指してさまざまな試行錯誤が国単位で行われてきました。

STEMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Mathematics(数学)の頭文字をとった造語ですが、その背後にある思想はいわゆる「理数教育」とは異なります。「科学や数学を学ぶ」だけでなく、「科学者や数学者、コンピュータ科学者のように考え、エンジニアのように創る」、つまり根底には、探究や試行錯誤、発見や創造の喜びの体験をいかに伝えるかを模索しようという考えがあります。日常の中で、さまざまな疑問や好奇心を持ち、時に仮説をたてて実験・創造し、試行錯誤する—、その過程にこそ学び・探究のおもしろさがあると。

近年はここにArt(芸術・デザイン)またはLiberal Arts(リベラルアーツ、日本では一般的に教養教育と訳される)のAを加えたSTEAMという言葉も世界的に浸透しています。アートの本質とは「自ら世界を見る新しい視点・問いを生み出すこと」つまり、21世紀を生きる学習者は、「自ら問いや視点を生み出し」かつ

「その解決法や発想を自ら形にしようと模索する」ことが求められます。その結果、学びはオープンエンドな問いを扱う探究となるのです。

もちろん「知」も大切です。何かを知ると、それに基づいて創ることが啓発され、創ろうとする中でさまざまな専門知に立ち返る必要がでてくる。つまり「創る」と「知る」との循環が生まれる。中核にあるのは各自の「ワクワク」。つまり、自分の興味・関心から発したさまざまな学びの中で、何かを生み出そうとする原動力となり、人はその過程でさまざまな知に出会う。もちろん、これまでに先生方や学校が模索してきたことは決して無駄にはならない。ただ、学び方やガイドの仕方、環境の作り方が少しずつ変わるだけ。各自が学びの主演になる。学びは本質的にプレイフルなものであり、それは生涯にわたって私たちの関心事であり続ける。

世界では、STEM・STEAMはK12(幼小中高)・大学以上の全年代で重視されています。今や、すべての人が《研究者》や《発明家》、《芸術家》になれる時代がやってきています。高校生のみならず、子ども、大人、(人より)できる・できないなどにあまりとらわれず、自分の心が少しでも動き、躍るものに会ったら、専門家のように一歩踏み込んで、うんうんうんうんって探究してみてください。将来何になるにしろ、一歩一歩踏み込んで試行錯誤した体験は必ずや自分の中で「価値」になり、多様な点と点がユニークにつながって、きっと、いつか思わぬ形でいかされます。人より遅くても、なかなかできなくてもいい。悪戦苦闘した体験こそが、研究者・芸術家・発明家としてのあなたを支えてくれます。

21世紀の学びの主人公はあなたです。オバマ元大統領が子どもたちにSTEM推進のスピーチの際に言ったように、「未来を創るのもあなた」なのです。ぜひ、ワクワクドキドキする学び(創造・生き方)を、自分たちのペースや感性にあわせて、時に仲間と協働しながら、さまざまなことに、さまざまなアプローチで本気で楽しんでみてください!

『分数ができない大学生』(※1)や『数学受験者は生涯所得が高い』の調査などで、ゆとり教育だけでなく、理数教育が軽視されていることに警鐘を鳴らしてこられた西村和雄先生。文系にもAIやデータサイエンスについてのリテラシーが求められるようになった今、「歓迎すべきことだが、どちらかに偏るのもよくない」と、STEM教育を一步進めたSTEAM教育に注目されます。一方の杉本厚夫先生は、『“かくれんぼ”ができない子どもたち』(※2)などで、こどもを取り巻く社会の変容について警鐘を鳴らされるとともに、遊びやスポーツの教育効果に着目、OECDのEducation2030の描く教育の未来像に期待を寄せられます。お二人にSTEAM教育の可能性について語っていただきました。



※1 1999年(東洋経済新報社)



※2 2011年ミネルヴァ書房

杉本厚夫先生:『かくれんぼ...』のタイトルを考えた際には「分数が...」から大いにインスピレーションをいただきとても感謝しています。
西村和雄先生:そうでしたか(笑)。

STEAMのAは、AIのA?

杉本: 研究者の傍ら、教育実践として長年、子どもたちと関わってきましたが、最近気になるのが、『かくれんぼができない』だけでなく、キャンプの初日に「してはいけないことを聞かせて」と話しかけてくる子が多いことです。

西村: 保護者から離れて、「家や学校ではできないことができる!」とは思わないのですね。

杉本: 冒険できない、そもそも何事も自分で決められないんです。

西村: 自己決定力が育っていないとも言える。原因は何でしょう。

杉本: 一つには、日頃から正解は一つではないということを教えられていないことが大きいと思います。

西村: 日本は「人生の選択の自由度がすくない」との国連の調査報告もありますが、自己選択は成長して幸せな生活を送るのに欠かせない。そこで最近、私は同志社大学の八木匡教授と共同で、自己決定度というもの、幸福度に影響するのかを調べました【注1】。すると自己決定力には学歴の8.7倍、年収の1.4倍の影響力がある。また、スポーツでも、介護やリハビリ、勉強でも、自分で決めてやるのが一番効率がいい。もちろん誰もが自分で決めることができなければいけない、というわけではありません。

杉本: 他者に判断をゆだねないのと、他人に対してだけでなく自分に対しても嘘をつかない、周囲のウェルビーイング(Well-being)【注2】にも配慮するという要素を加えて、自立(independence)と区別して自律(self-discipline)性という言葉を使います。スポーツで自己申告、self judgmentを尊重する競技はこれを大事にしています。イギリスで誕生したゴルフや、スコットランド生まれのカーリング等では、ファールをしたら自己申告しますね。

西村: ところでSTEAM教育が唱えられる背景には、AIの発達に象徴される情報通信技術の急速な発展、国内ではSociety5.0で求められる資質の育成が急がれることがあります。こういう時代だからこそ、創造性はもちろん、自律性はこれまで以上に求められるのではないのでしょうか。一時、シンギュラリティという言葉【注3】が話題になりましたが、デジタル社会の進化で人類すべてが幸福になるとは限らない。AIを使う側、AIに使われる側といった分断や、所得格差の拡大などの危機も孕んでいる。

杉本: 自律性は、機械に使われない人間になるのにはまず必要です。

西村: 使う側には強い倫理観が求められます。AIやロボットなどを戦争に使わないとか、バイオ技術で生命の尊厳を脅かさないと。STEAMの「A」をliberal artsと解釈すれば【解説】、STEAM教育はまさに、自分で物事を判断し、自分で生き方を決める、何かへの従属から自分を自由にするための教育、あわせて倫理観も涵養するものということになる。当然、他者と協働する力や、利他の精神等の育成も含まれます。

このような教育は、社会的に成功する、あるいは幸せな人生を送るといったウェルビーイングの観点からも重要であることが、われわれの行った「基本的モラルと社会的成功」の調査【注4】で明らかになっています。ここで明らかになった基本的モラルとは、「嘘をつかない」「ルールを守る」「人に親切にする」「勉強する(働く)」の4つ。これは哲学者のカントも言っていたことがその後わかりました。また経済学の生みの親であるアダム・スミスが、「利己主義」が経済行動の動機づけになることについて書いていることはよく知られていますが、別の本では、自分の行動は、想定した第三者の目から見ても認めるもののみが認められるとも書いています。つまり、利

その2 対談 個に応じたSTEAM教育を —教育の構造変容に期待

神戸大学計算社会科学センター特命教授。

1970年東京大学卒業。1976年米国ロチェスター大学Ph.D. 専攻は数理経済学 複雑系経済学。2012年紫綬褒章。87年より京都大学経済研究所。2010年から同特任教授、2013年現職。1992年からEconometric Society, Fellow。2015年からInternational Engineering and Technology Institute, Distinguished Fellow。日本学士院会員。著書は『世界一かんたんな 経済入門』(講談社)、『ミクロ経済学入門(第2版)』(岩波書店)など多数。市立札幌旭丘高等学校出身。



経済学者
西村 和雄 先生



社会学者
杉本 厚夫 先生

(一般社団法人)子ども未来・スポーツ社会文化研究所 所長・代表理事

1975年: 京都教育大学教育学部卒業。
1978年: 筑波大学大学院修士課程修了。
1978年: 広島大学総合科学部助手。
1986年: 京都教育大学教育学部助教授。
1996年: 同教育学部教授。
2000年: イェール大学・ロンドン大学客員研究員
2010年: 関西大学人間健康学部教授。
2012年: 同学生センター副所長。
2014年: 同大学院人間健康研究科教授。
博士(学術)筑波大学。
2020年から現職。京都教育大学名誉教授、関西大学名誉教授。専門は子ども社会学、教育学、スポーツ社会学。大阪府立清水谷高等学校出身。

他主義を伴わない利己主義は長続きしない、基本的モラルを守る方が自分のためにもなるとも解釈できるのです。

杉本: これからの予測不能と言われる社会を生きていく上ではレジリエンスを育てることも大事ですが、そのことにもつながりますね【注5】。

【注1】 Kazuo Nishimura and Tadashi Yagi "Happiness and Self-Determination - An Empirical Study in Japan", Review of Behavioral Economics: No. 4, pp 385-419, 2019

【注2】 Well-being: 良い在り方の意から、健康(WHO)や幸福の意に転用され現在に至る。SDGsの項目3にも掲げられている。

【注3】 Singularity: 技術的特異点。アメリカの発明家で人工知能研究の世界的権威であるレイ・カーツワイル博士らによる仮説。人工知能(AI)が人間の能力を超え、それにより人間の生活に大きな変化が起こるとされる時点。

【注4】 西村 和雄・平田 純一・浦坂 純子・八木 匡「基本的モラルと社会的成功」Quality Education 6, 2014

【注5】 幼少期の「集団遊び体験」が育てるレジリエントな子——理不尽を乗り越えて(『児童心理』2016年1月号)の中で、杉本先生は、「保身と自己犠牲の理不尽を乗り越えるために、失敗のリスクを背負って挑戦することの体験を通じてレジリエントな子が育つ」「今、子どもたちの世界は理不尽なことに満ち溢れている。すぐに折れてしまったり、諦めてしまったりする子どもが、集団遊びを経験してレジリエントな子に育つてくれることを願ってやまない」などと書かれている。ちなみにレジリエンス(resilience)とは、「回復力」「弾性(しなやかさ)」を意味する。「レジリエントな」と形容される人物は、困難な問題、危機的な状況、ストレスといった要素に遭遇しても、すぐに立ち直ることができる。

STEAMのAはArtsのA、遊びのA?

西村: 「A」を、音楽・絵画などの芸術と狭く解釈するとどうでしょうか。経済活動においてはアート経済などの表現もあって、デジタルプラットフォームが整備されていく中では、仕事のスタイルも働き方も変わってくる。中島さんの言うようにみんながアーティスト、あるいはデザイナーのように仕事

ができるかもしれない。またイノベーションの創出、アントレプレナー育成などの観点からは、アート思考がまず重要で次にデザイン思考も求められる。特にアートは、全く新しい視点をわれわれに提供してくれるという意味で、社会・経済の変革やイノベーションの源泉になる。

杉本: 教育においては、少し専門的な言い方をすると《機能》ではなく《構造》の変容を促すのにアートの視点があると思います。長年、学校教育を見ていて思うのは、変わらないこと。今回のコロナ禍も、変化するための絶好の機会だったのに、現場の多くは何とか現状維持しようとしている。しかしコロナ禍を経験した今だからこそ、多くの課題を解決するために学校の構造自体を変える必要がある。西村先生は、自己決定を阻むものとして《しがらみ》の存在を挙げておられます【注6】が、なかなかそこから《逸脱》できない。

そもそもデジタル社会が進化した今、知識を得る方法は学校以外にいくらでもある。そういう意味から、私は音・美・体こそ学校教育の中心にすべきと考えています。アートと言い換えてもいい。音・美・体には《遊び》の要素が強く、正解がなく、それ自体が自己目的的で、フロー体験(没入感)などを通じて自己決定力、さらにはレジリエンスなどを育てやすい。

西村: たしかに遊びは大事ですね。アートでもスポーツでも、勉強でもそうですが、楽しんで、遊びながらやっていく過程が最も成長を促すと言われています。

杉本: 近年はその遊びが減ったこと、子どもたちがどんどん遊べなくなっていることが問題です。「かくれんぼ」だけ

ではない。ただ、私はいわゆるゲームは遊びではないと考えています。それは、誰かが作ったルールで遊ばされているだけで、プレイヤーはルール(構造)を変えられないから。子どもはみんなが楽しく遊べるように、ルールを変更することで、創造性、クリエイティビティーが育つ。

西村: あらゆる訓練法の中で優れているのが《遊ぶようにする》ことですかね。ただ、それがわかっている指導者は少ないかもしれません。学校では教える内容はもとより、教え方そのものの変革があるのではないのでしょうか?

杉本: OECDは2015年からEducation2030プロジェクトをスタートさせましたが、その成果の一つが、2019年に日本でも仮訳が出た「OECDラーニングコンパス2030」。ここでは生徒が授業を受動的に受ける《産業形態としての学校教育》を根本的に見直し、子どもたちには新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力などを身につけてほしいとしています。19世紀、20世紀を通じて学校教育の目的は、産業社会を支え、発展させる人材の育成、つまり社会の要請に応えようというものだったが、これからは未来を創造できる、不確実な未来を切り拓くことのできる人材育成に転換しなければならない。そのためには、学びは学習者中心(主体的なもの)で、音・美・体のようにプレイフルでワクワク感に満ちたものでなければならぬ。それが個人のウェルビーイング、社会のウェルビーイングをもたらし、SDGsの達成にもつながる。

その意味では、STEMにAが入ったことで、これからの社会を創っていく教

育になっていくのではないかと。また学校教育に閉じないSTEAM教育にはその可能性を感じます。

西村: STEAMと言うまでもなく、やはり高校時代までは、将来の選択肢を減らさないためにも幅広く学んでほしい。2002年から、大学入試で数学を選択した人の方が、非選択者より、社会へ出てからの収入が高いという調査結果を発表してきました【注7】が、これは、早目に数学を捨てて受験科目を絞り込むことは将来の不利益につながることも解釈できる。

大事なことは、「個に応じたSTEAM教育」を目指すことです。確かに広く学ぶことは発想の基をつくることにつながりますが、かといってすべてが得意になる必要はない。広く学ぶ中で、得意なことを発見して深めていく。そして、自分の性格を含めて、個性を自覚していく。公教育がその方向に向かっていけるのならいいのですが、今の学校、教員、入試制度でそれをいかしていかけるかは疑問です。民間の教育機関がそれを先取りして、「個に応じたSTEAM教育」を提供していくことで、公教育も変わらざるをえなくする方が早いのではないとも思っています。実は2013年から、大阪市で教育委員、その後は顧問として教育に関わっていますが、ここでは、規範意識と学力をコアとする、全人的な「個に応じたSTEAM教育」を目指しています。

【注6】 「自己決定できない人は…自分が何に縛られているのかに気づいていないと思います。」

キャリアに主体性、オーナーシップを持つには、自分を縛るものを失うことが第一歩。本業以外の世界を持つと、それまで気づかなかった本業でのしごらみが見えてきます(『東洋経済オンライン』2020.7.15【コロナ後キャリアは自分で決めるが鍵な理由】より)

【注7】 浦坂純子、西村和雄、平田純一、八木匡「数学学習と大学教育・所得・昇進」日本経済研究46, 2002年(日本経済研究センター)その他。

解説

STEAM教育とは?

○…STEAM教育については、国際的に見ても、各国で定義が様々であり、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加わったAの範囲をデザインや感性などと狭く捉えるものや、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲 (Liberal Arts) で定義するものもある。

STEAM教育の目的には、人材育成の側面と、STEAMを構成する各分野が複雑に関係す

る現代社会に生きる市民の育成の側面がある。各教科等の知識・技能等を活用することを通じた問題解決を行うものであることから、課題の選択や進め方によっては生徒の強力な学ぶ動機付けにもなる。(中略)

このためSTEAMの各分野が複雑に関係する現代社会に生きる市民として必要となる資質・能力の育成を志向するSTEAM教育の側面に着目し、STEAMのAの範囲を芸術、文化のみならず、

生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲 (Liberal Arts) で定義し、推進することが重要である。

(中略)

○高等学校においては、新学習指導要領に新たに位置付けられた「総合的な探究の時間」や「理数探究」が、
・実生活、実社会における複雑な文脈の中に存在する事象などを対象として教科等横断的な課

題を設定する点
・課題の解決に際して、各教科等で学んだことを統合的に働かせながら、探究のプロセスを展開する点

などSTEAM教育がねらいとするところと多くの共通点があり、各高等学校において、これらの科目等を中心としてSTEAM教育に取り組むことが期待される。

(以下略)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申) (令和3年1月26日中央教育審議会)より

あらためて どうなる?これからの大学入試

大丈夫?英語資格・検定試験の個別選抜での活用促進

東京都立八王子東高等学校長 宮本 久也

Profile

筑波大学卒。都立高校教諭、東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長、指導企画課長を経て都立西高等学校校長(2012～17)、全国高等学校長協会会長、全国普通科高等学校長協会理事長(2015～17)。会長在任中に高大接続システム改革会議委員、中央教育審議会初等中等教育分科会委員、大学入学希望者学力評価テスト検討・準備グループ委員等多くの審議会委員を務める。2018年より現職。和歌山県立那賀高等学校出身。

特別寄稿
1

「大学入試のあり方に関する検討会議」の出した結論

さる7月8日文科科学省の「大学入試のあり方に関する検討会議」は、2025年以降の大学入試共通テストでの英語資格・検定試験(以下英語民間試験)の活用と記述式問題の導入について「実現は困難」との提言を発表した。

この検討会議は、2019年11月と12月に発表された英語民間試験を活用した「大学入試英語成績提供システム」及び大学入学共通テストにおける国語・数学の記述問題の導入見送りを受け、英語4技能評価や記述式問題の出題を含めた大学入試のあり方を検討するため、2019年12月に設置され、2020年1月以来28回にわたって議論を重ねてきた。

提言では、大学入学共通テストの枠組みでの英語民間試験の活用については、試験によって会場数、受験料、実施回数、また障害のある受験生への配慮が異なること等、会議で指摘された課題を短期間で克服することは容易でない。またコロナ禍で民間試験の中止や延期が生じ、外部の試験に過度に依存する仕組みの課題が認識されることを理由に、大学入学共通テスト本体並みの公平性等が期待される中であって、この方式の実現は困難であると結論付けた。

また、大学入学共通テストにおける記述式問題の導入についても、一定の意義はあるものの、50万人以上が同一日・同一時刻に受験し、その成績提供が短期間で求められることから、質の高い採点者の確保や採点結果と自己採点との不一致等の課題の克服は容易ではなく、実現は困難であると結論付けた。

その一方で提言では、総合的な英語力評価や記述式問題が果たす重要性は認め、各大学が行う個別試験において英語民間試験の活用や記述式問題の出題を促進すべきという考えを示した。

高大接続システム改革会議以来の課題は解決されたのか

2015年3月に設置された「高大接続システム改革会議」に委員として参加して以来、様々な形で大学入試改革の検討に関わってきた立場から見ると、大学入試共通テストでの英語民間試験の活用と記述式問題の導入断念は妥当だと考えるが、各大学が行う個別試験において英語民間試験の活用を促進することについては大きな疑問を感じる。以下のその理由を述べる。

提言で、「大学入試英語提供システム」の見送りの段階等で指摘された課題は、(1)地理的・経済的事情への対応が不十分。(2)障害のある受験生への配慮が不十分。(3)目的や内容の異なる試験の成績をCEFR対照表を介して比較することに対する懸念。(4)文科科学省の民間事業者への関与の在り方。(5)英語民間試験の活用に関する情報提供の遅れ。(6)コロナ禍における英語民間試験の安定的実施の6点である。

各大学が行う個別試験において英語民間試験を活用するにあたってこれらの課題の克服が不可欠であるが、その点についての提言の記載は極めて不十分で具体性を欠く。

提言では、文科科学省のイニシアティブにより、資格・検定試験団体と高大関係者による恒常的な協議体を設け、低所得層に対する検定料の減免、オンライン受験システムの整備や高校会場の拡充、障害のある受験生への合理的な配慮の推進、成績提供の利便性の向上、問題集の出版などを含む試験実施団体内部での利益相反等の問題への対応のあり方、各試験の質や水準等に関する第三者評価のあり方や調査研究の実施といったテーマについて議論することが有益であると考えられるとしている。恒常的な協議体としては、さる5月14日に「大学入学選抜協議会」が設置され既に審議が始まって

いる。

私も過去に同様な協議会に委員として参加したが、委員は当然のことながらそれぞれ立場の違う団体等を代表しており、意見集約に時間がかかる。また一つひとつの課題が大きく、課題解決に向けては様々な調査や分析、関係者等からの意見聴取が不可欠であり、場合によっては協議会とは別にワーキンググループを設置する必要がある。文科科学省としてはこれらの改革を、新しい学習指導要領で学習した高校生が受験する2024年度中に実施する大学入試から実施することを考えているが、大学入試での大きな制度変更は2年前に公表するというこれまでのルールから考えると残された時間は1年半しかなく、課題解決に向けての具体的な方向性を出すことは非常に難しいと言わざるを得ない。また、「大学入試英語提供システム」導入で明らかになったように、世界的規模で実施している英語民間試験はオンラインを活用した受検等、この提言に適合する形での実施形態への変更は難しいと考えられ、各試験間の差異は今まで以上に広がることは必然である。

そもそも大学入試とは何か

大学入試問題は受験生の学力が大学教育を受けるに足り得るかどうかを見るものであり、学習指導要領や高校の学習実態を踏まえて作成されている。しかし英語民間試験はそれぞれが違った目的で作成されており、これを大学入試で活用することについては英語教育の専門家からかねてより多くの指摘がなされている。大学入学共通テストの枠組みの中での活用については、資格・検定試験単独ではなく、当面は英語の共通テストと併用して活用するということが、慎重な立場の方からも一定の理解は得られていたが、単独での活用となると問題は別だ。また、「英語提供システム」導入時に定められていた高校3年時に2回という制限を

なくしたことは、入試の早期化も招くことになる。英語民間試験の活用促進の流れの中で、既に一部の大学で行われているように、英語民間試験で一定のスコアをあげれば一般選抜における英語の成績を満点にするというような方式が増えれば、高等学校教育に及ぼす影響はきわめて大きい。

活用推進の立場の方からは、既に総合型選抜や学校推薦型選抜で活用しているのではないかという意見が多く聞かれるが、これらの選抜では受験生の特筆すべき活動を評価する指標とされているわけで、一般選抜での活用とは全く意味が異なる。また、既に導入している大学においても、制度の妥当性について様々な意見があるとも聞いている。

また提言では、代替措置の例として経済的事情への配慮等から民間試験を活用しない選抜区分の設定等をあげているが、それによって選抜区分間の公平性が保たれない等、新たな課題も生じてくる。各大学は、一般選抜において英語だけ他の教科と異なる指標で判断することの妥当性や、民間試験活用によって生じる様々な課題についてしっかりと検討したうえで活用を判断すべきである。

大学入試共通テストでの英語資格・検定試験の活用と記述式問題の導入断念の大きな要因は、文科科学省が、検討段階で指摘されていた様々な課題について解決の見通しを十分立てないまま、導入ありきで準備を進めたことにある。「大学入試のあり方に関する検討会議」でもその点についての総括は十分なされていない。そうした中で提言された各大学の個別試験での英語民間試験の活用促進には様々な点で大きな問題があり、このままでは前回以上に大きな混乱を受験生や高等学校教育に与えることになることは必至である。実施に向けての検討の場となる「大学入学選抜協議会」では、提言ありきではなく様々な観点からの検討を強く望みたい。

16歳からの
大学論

第28回
特別編

筆者、ついにSTEAM Associationを旗揚げ! 「無知の知」の体現こそ

京都大学
学際融合教育研究推進センター
准教授 宮野 公樹先生

Profile

1973年石川県生まれ。2010～14年に文科科学省研究振興局学術調査官も兼任。2011～2014年総長学事補佐。専門は学問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」講談社など。

今年7月に一般社団法人「STEAM Association」を設立しました。この社団では「ほんとうの学び」をコア・コンセプトにした、学び合いの場を作るのがねらいです。

今日、「学ぶ」という行為には目的が無いとダメみたいな感じになってます。例えば、昇進や、資格や単位取得のためであったりと、今、この時代を生きる我々は、「学ぶことが何かを得ること、新たに何かを身につけること」というようについ考えがちになってる。しかし、「学び」には、特段の目的はいらないって私は思います。もちろん、自分の成長やスキルUPも大事ではありますが、それを超えたところで、自分自身の感覚や感情を芯にして学んでいくことが、最近忘れられるように感じるわけです。

言いたいのは、「学ぶ」というのは、本来、おいしい、たのしい、うれしいなどと同じ我々の深い部分に根付く喜びの感覚である、ということ。この人間の純な本性としての学び(=これは目的に先立つので、「ほんとうの学び」と呼ぶことにします)を通じてこそ、人は、自分の在りように気づくのだと思うのです。何かを獲得するための学びを外向きとするなら、ほんとうの学びは内向き。「ああ、私は、これが好きなんだ」「私に関心もつ事柄って、根っこにこういう共通点があったんだ」「当時、知っていたって思っていたこと、今はそこまででない。なぜだろう」といったようになります。

今日、金持ちゲームも、学歴ゲームも、大企業就職ゲームもだんだん終わりを迎えているといっ

てきたらいいですね。そういう今こそ、先に述べた「ほんとうの学び(=自分の在りよう)」が必要と思うのです。

そして、この社団では、このほんとうの学びの柱の一つに「STEAM」を置くことにしました。STEAMとは、Science、Technology、Engineering、Art、Mathematicsの頭文字で、現在、「STEAM教育」というのは、世界各国において分野融合型かつクリエイティブな理工系人材を育成する目的の下に推進されています。しかし、この社団法人は、我が国のSTEAMを振興しますといった考えは持っていません。なぜなら、今、STEAMSTEAMと叫んでいても、時代が変われば、BEYOND-STEAM、とか、Next-STEAMなんて言いたす かもしれませんでしょ?

この社団法人では、あくまで「STEAM」は入り口とし、既存のSTEAM教育をさらにもう一回り広く深く捉え直して社会に問うことをねらいとし、「そもそもSTEAMとは何か。いやむしろ、STEAMなるものを掲げて何を推進しようとしているのか?」といった俯瞰的で根源的な思考を何より重視します。つまり、STEAMというキーワードの登場を、「科学技術と人類の関係についての新たな考え方を得る契機」として受け止め、歴史や哲学など人文・社会科学系の観点を含め、STEAMのAをリベラルアーツのAとして強調し、STEAMという概念を問い直したいんです。

まず最初は、我が国の研究者を対象とした事業を展開していく予定です。読者の方でご関心のある方は一般社団法人STEAM Associationで検索を。

今春の大学入学共通テストの開始で、第一のステージが始まった「新入試」。その第2のステージの入り口と目されるのが2025年度入試。この春には、新入試に不可欠なアドミッションオフィサーの養成を目的に、「大学アドミッション専門職協会(JACUAP)」【前号参照】も立ち上がるなど、少しずつだが前に進み始めている。今夏出された「大学入試のあり方に関する検討会議」の提言について、また2025年度入試での取り扱いに注目の集まる共通教科「情報」について、高校現場のお二人の先生にご寄稿いただいた。

特別寄稿 2

どうなる2025年度入試!?

——新しい教科「情報」をめぐって

京都市立堀川高等学校情報科教諭 京都大学非常勤講師 藤岡 健史

Profile
京都大学工学部情報学科卒業、京都大学大学院情報学研究所修士課程修了、京都大学大学院情報学研究所博士後期課程修了、博士(情報学)京都市立堀川高等学校教諭、京都市立塔南高等学校教諭、京都市立西京高等学校教諭を経て、2019年から京都市立堀川高等学校情報科・数学科教諭(情報科主任/教育研究・研修指導員)、京都大学非常勤講師、大阪府立茨木高等学校出身。

共通教科「情報」は、指導要領の改訂でどう変わるか

昨今の大学入試改革は混乱を極め、文部科学省は2021年7月30日に英語民間試験や記述式問題の導入を正式に断念すると発表した。それと同時に発表されたのが、2025年度の大学入学共通テストへの教科「情報」の導入である。今や、大学入試改革の焦点は教科「情報」に移っている。

それでは、開始まで秒読みとなった高等学校の学習指導要領によって、2022年度から教科「情報」はどのように生まれ変わるのか。

現行の学習指導要領においては、ほとんどの高校生が「社会と情報」か「情報の科学」(いずれも2単位)のどちらか一方の科目を学んでいる。その内容は、大雑把な言い方をすると「社会」が文系寄り、「科学」が理系寄りである。小学校への導入で脚光を浴びているプログラミング教育は「科学」の方に含まれている。「社会」と「科学」のどちらを学ぶかは各校ごとに決めることができ、現行の設置割合は「社会」:「科学」≒8:2程度と、「社会」の側に大きく偏っている。そのため、プログラミングを教えている高校は実は少数派で、学校間の格差も大きい。また、大学入試にも(ほぼ)出ないため、教員も育成されにくい。

このような現状を改善するため、2022年度から実施される新しい学習指導要領では、全ての高校生が共通必修科目「情報Ⅰ」を等しく学ぶこととなった。学

習内容は一新され、「科学」的な内容が一気に増えると同時に、問題の発見・解決に重点が置かれるようになった。現行の科目に比べてレベルも一段と高度になり、「情報Ⅰ」の後に学ぶ選択科目として「情報Ⅱ」も用意された。これらを教える教員を育成するため、文部科学省は「教員研修用教材」や「実践事例集」まで念入りに準備している。

このように、高等学校の教科「情報」は一気にその充実化が図られようとしている【図】。

いったいどのような問題が出題されるのか

2021年3月24日、大学入試センターが「情報Ⅰ」のサンプル問題を公開した(これに先立ち2020年11月に「試作問題(検討用イメージ)」というものも出ている)。プログラミングの問題も出ており、私の周りでは「難しい!」という感想の教員が多いが、全国平均を5~6割程度に設定する大学入試としてはこれくらいのレベルが妥当ではないかとも思う。まだご覧になっていない方がいれば、大学入試センターのWebページで公開されているのでぜひ一度見ていただきたい。

このことは報道でも大きく取り上げられた。その論調はおしなべて、「小中学校に加えて、高等学校でもプログラミング必修化!」といったものだったから、さしあたって、「情報科でプログラミングを学ぶ!」とか「情報科が大学入試に入る!」といったイメージを日本中に広めることにはある程度成功したように感

じられる。

しかしここで大きな疑問が生じる。それは教科「情報」の内容がこれほどまでに「プログラミング重視」「コンピュータ中心」になってよいのかという疑問である。この春、一斉に各学校に配られた新しい検定教科書の見本本にも「プログラミング」や「コンピュータ」といった文字が溢れかえっており、内容が一気に「科学」寄りに舵を切った印象である。この極端な動きには違和感があると言わざるを得ない。

この違和感についてももう少し詳しく述べたい。

そもそも、教科「情報」の目標は【図】の通りである。つまり、教科「情報」では、まず何よりも「情報とは何か」を学ぶことが重要なのではないかと。教科「情報」はプログラミングやコンピュータだけを学ぶ教科ではないのである。上で述べた報道のような偏った認識のままでは、「情報=コンピュータ」だと誤解する高校生がたくさん生まれてしまう。これはなんとも心もとない。

「情報」の概念というものは、コンピュータだけにとどまらないのは明らかである。例えば、日常生活でも「この分厚い本から得られた情報はほとんどなかった」というようなことが起こり得るが、この場合の「情報」は、ビットやバイトといった「データ量」といったいどのような関係があるのか。こういったことをきちんと理解するのが教科「情報」なのではないか。

ここで、「情報とは何か」という問いに正面から挑んでいる研究者とその学問の内容について紹介したい。

情報学者であり、東大名誉教授の西垣通氏は「基礎情報学」という学問を提唱している。基礎情報学は、まさに「情報」についての学問であり、「情報とは何か」が明確に定義される。基礎情報学において、情報とは、生物としての「意味作用を起こすもの」と定義され、「生命情報」、「社会情報」、「機械情報」の3種類に分類される。

基礎情報学では、情報のもつ「意味」に着目する。ここでいう「意味」とは、別の言い方では「価値」である。すなわち、情報は、「誰(どの生命)にとって意味(価値)があるのか」が重要である。基礎情報学において、「情報」とは、生命と密接に関連し合った、生命とは切り離せない存在として考えられるのである。

そもそも情報とは?

このような研究をふまえるならば、「情報」という概念がコンピュータをはじめとする情報技術の枠内でしか扱われないのだとすると、せっかくの新しい高校の教科「情報」はその十分な役割を果たせないのではないかと。

誤解のないように断っておくが、私は情報技術の科学的理解に関する教育が

不要だなどと言っているのでは全くない。むしろ、そういった教育は大変重要だと考えている。私は約20年前に工学部の情報学科を卒業し、大学院では情報学の学位を取得した。こういった情報科学教育の社会的な意義について十分に理解しているつもりである。しかし、いやだからこそ、この「情報=コンピュータ」と安直に考えてしまう世の中の風潮に強く「待った」をかけたいと思うのである。教科「情報」で教えるべきことは情報技術だけではない。

前述の西垣通氏は、著書『新 基礎情報学』の中で次のように述べている。

「『“情報”イコール“コンピュータ”』という狭い公式から急速に脱し、情報という概念を、『情報/コミュニケーション/メディア』という人間の心理的/社会的な関係のなかで、深くとらえ直さなくてはならない」と。

重要なので繰り返すが、プログラミングやコンピュータを扱うだけが情報教育ではないのである。もちろんPythonやJavaScriptなどを学ぶことも必要である。しかしながら、人工知能やIoT、ビッグデータが急速に普及・発展していくこれからの情報社会を生きていく私たちは、なにより「基礎情報学」を背景とする「情報とは何か」について、まずはきちんと学ぶことが必要である。

(下記に参考文献を挙げる。「基礎情報学」の入門書は、『生命と機械をつなぐ知』。他に多くの読みやすい新書も出ている。)

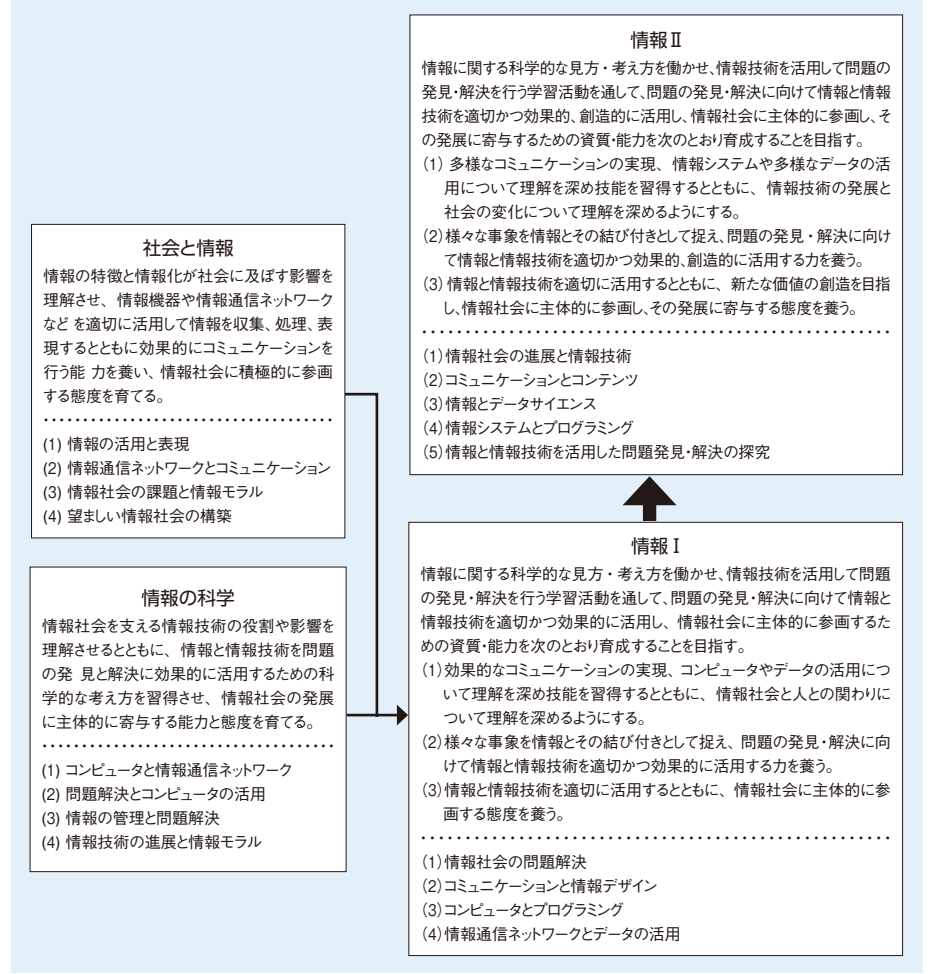


参考文献
西垣通著「基礎情報学」NTT出版、2004
西垣通著「続 基礎情報学」NTT出版、2008
西垣通著「生命と機械をつなぐ知」高陵社書店、2012
【★最もオススメの入門書】
西垣通監修、中島聡編著「生命と機械をつなぐ授業」高陵社書店、2012
西垣通著「新 基礎情報学」NTT出版、2021

「情報とは何か」を扱う授業実践の報告は以下。
<https://www.wakuwaku-catch.net/jirei1896/>

筆者の論文は以下を参照。
・藤岡健史、大西洋: 「情報一般の原理」を学ぶ情報教育カリキュラムの開発と評価—日本学会会議の参照基準に基づいた高校情報科の刷新に向けて—、日本情報科教育学会第9回全国大会講演論文集、3-B-2、2016。
・藤岡健史、大西洋: 専門科目「情報学基礎」における文理融合型情報教育の実践と評価、日本情報科教育学会第10回全国大会講演論文集、1-A-3、2017。
・藤岡健史、中村央志、大西洋: 3年目を迎えた専門科目「情報学基礎」——次期指導要領における「情報Ⅰ」を見据えたプログラム開発、全国高等学校情報教育研究会第11回全国大会(秋田大会)、August 9-10、2018。

図 改訂前と改定後の共通教科情報科(文部科学省 高等学校学習指導要領より)



大学独自の奨学金制度特集

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額								
国公立大学																			
北見工業大学																			
入学料本学負担制度	入学料免除	28名	減免●入学料の全額	下関市立大学															
創立50周年記念基金奨学金	入学料免除	10名	給付●44,650円/月(1年間)	一般選抜入学試験成績優秀者 入学金優遇制度	各試験区分の 学科合格者の 上位5%		減免●入学料の半額	北海道千歳リハビリテーション大学											
山形大学																			
山形大学奨学金	減免●免除	8名	給付●5万円/月 減免●入学料と授業料を免除	高知工科大学															
山形大学エリアキャンパス もかみ土田秀也奨学金	減免●免除	1名	給付●4万円/月 減免●入学料と授業料を免除	特待生S	減免●入学料と授業料を免除 給付●10万円/月 給付●5万円/月 減免●入学料と授業料を免除			北海道文教大学											
宇都宮大学																			
宇都宮大学3C基金「入学応援奨学金」(予約型奨学金)	減免●免除	20名	給付●30万円	特待生A	減免●入学料と授業料を免除			特待生 学校推薦型選抜	減免●授業料の半額	33名									
東京大学																			
学部学生奨学金	減免●免除	2名	給付●50万円	高知県内高等学校出身者 授業料等免除の制度	減免●入学料と授業料を免除			特待生(一般A期3科目型2科 目型、共通テスト利用前期)	減免●授業料の半額	85名以内									
さつき会奨学金(自宅外通学 の女子受験生対象)	減免●免除	最大15名	給付●5万円/月・入学支援金30万円	熊本県立大学															
東京芸術大学																			
宗次徳二特待奨学生	減免●免除	各専攻1名	給付●入学時100万円、在学期間50万円	「くまもと夢実現」学校推薦型 選抜	減免●入学者選抜手数料、入学料と授業料	2名		酪農学園大学											
東京工業大学																			
大隅良典記念奨学金 (入学前の予約型奨学金)	減免●免除	20名	給付●5万円/月	宮崎公立大学															
横浜国立大学																			
新入生スタートアップ支援金	減免●免除	20名	給付●15万円	MMU成績優秀者奨学金A	減免●入学料相当額	7名		推薦入学試験特待生	減免●前学期授業料	入学定員の 3%									
新潟大学																			
輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金	減免●免除	50名	給付●40万円	MMU修学支援奨学金A	減免●入学料相当額			後継者特待生	減免●前学期授業料	入学定員の 3%									
福井大学																			
基金予約型奨学金 (学校長推薦)	減免●免除	10名	給付●30万円	私立大学															
国重奨学金給付金(入学支援予約型)	減免●免除	若干名	給付●80万円	旭川大学															
山梨大学																			
大村智記念基金奨学金	減免●免除	18名	給付●30万円	入学時の特待生制度 (経済学部)	減免●A特待:授業料の全額 B特待:授業料の半額 C特待:授業料20万円	若干名		青森大学											
信州大学																			
知の森基金奨学金 信州大学入学サポート奨学金	減免●免除	20名	給付●10~40万円	入学時の特待生制度 (保健福祉学部)	減免●A特待:授業料と施設設備費の全額 B特待:授業料と施設設備費の半額 C特待:授業料20万円	若干名		薬学部特別学業特待制度	減免●授業料の全額または半額または30%										
豊橋技術科学大学																			
第1年次入学者に対する 優秀学生支援制度(推薦一般)	減免●免除	各入試区分の 成績最上位者	給付●30万円	福祉人材養成奨学金	減免●授業料の半額または授業料20万円	若干名		学力入試学業特待制度	減免●授業料の全額または半額 減免●授業料の30%										
広島大学																			
フェニックス奨学金制度	減免●免除	10名	給付●10万円/月 減免●入学料と授業料を免除	礼視大谷大学															
徳島大学																			
入学時日亜特別給付金制度 (推薦II入試)	減免●免除	10名程度	給付●90万円	特待生制度(4年継続特待生) 特待生制度(単年度特待生)	減免●授業料および教育充実費の全額 減免●A特待生:授業料および教育充実費の全額 B特待生:授業料の半額および教育充実費の全額 減免●授業料の半額または1/4	若干名 若干名		青森中央学院大学											
九州大学																			
中本博雄賞修学支援奨学金	減免●免除	10名程度	給付●3万円/月	授業料減免制度 (おたかに減免制度)	減免●授業料の全額	該当者全員		特性選抜	減免●授業料の全額または半額または3割										
鹿屋体育大学																			
入学料特別免除 競技成績優秀者(学部入学者)	減免●免除	各競技2名	減免●入学料の全額	札幌学院大学															
都留文科大学																			
新入生スタートアップ奨学金	減免●免除	74名	給付●5万円	スカラーシップ特待生 成績優秀者奨学金(学業特待奨学金) 資格取得者奨学金	減免●授業料の全額 減免●授業料の前期分 減免●入学金と授業料の全額、または入学金のみ 減免●第一種:授業料の全額(最大4年) 第二種:1年次授業料の半額 第三種:1年次授業料の半額 第四種:入学金の全額 第五種:入学金の半額			八戸学院大学											
福山市立大学																			
一般選抜(前期日程) 成績優秀者減免制度	減免●免除	5名	減免●入学料の全額	星槎道都大学															
函館大学																			
特別奨学生	減免●免除		給付●1種:入学金の全額と授業料(4年間) の全額相当 2種:入学金の全額と授業料(4年間)の半額相当 3種:入学金の全額相当 給付●25万円	入学試験における経済支援制度 資格取得者奨学金制度	減免●減免●ランクに応じて学費または授業料を免除 減免●初年度授業料または入学金を免除			富土大学											
推薦型選抜奨学生																			
推薦型選抜奨学生	減免●免除		給付●25万円	岩手医科大学															
北翔大学																			
入学時成績優秀特待奨学生 (学業・スポーツ・特技)	減免●免除	20名	減免●入学年度の後期授業料から入学金相当額	医学部入学時学納金の減免 薬学部入学試験優秀者奨学金	減免●減免●学納金の一部 減免●100万円	2名 5名		石巻専修大学											
北星学園大学																			
入試特別奨学費	減免●免除	募集定員の 10%	減免●授業料と教育充実費の半額	尚綱学院大学															
北海道商科大学																			
北海学園奨学金(第4種)	減免●免除	2名	給付●2.5万円/月	入学時特待生制度	減免●授業料・教育充実費・施設設備費の全額			仙台白百合女子大学											
北海道科学大学																			
スカラーシップ制度	減免●免除	各学科入学 定員の10%	減免●授業料の全額または半額または25万円	東北医科薬科大学															
北海道情報大学																			
松尾特別奨学金制度(奨学金) 松尾特別奨学金制度 (奨学金)特待生S	減免●免除	80名 経営情報 各学科1名 医療情報1名 情報メディア 2名 55名	給付●A1:66万円 A2:33万円 A3:17万円 給付●33万円	東北工業大学															
松尾特別奨学金制度 (生活支援)	減免●免除		その他●寮費、食費の補助	東北福祉大学															
申請資格(抜粋)																			
一部三県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外に設置された国内高等学校もしくは中等教育学校を、2021年3月卒業見込みの者または2020年3月以降に卒業した者。(注)通信制高校は一部三県以外に在任。専修学校の高等課程修了者、高等専門学校3年次修了者を含む一般選抜・共通テスト利用入試、総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校推薦入試を含む)で受験する者。																			
申請期間																			
第2回 1月6日(水)~ 1月20日(水) 消印有効																			
奨学金額・支給期間																			
入学学部に応じ 毎年45・65・70万円を給付 ※国の修学支援制度と併給の 場合には毎年10・15・20万円を 給付 4年間継続																			
採用予定人数																			
採用候補者 1,200名 (第1回、第2回合計)																			
主入試前予約採用給付奨学金																			
めざせ! 都の西北奨学金																			
①児童養護施設に高等学校卒業まで入所する者、または高等学校在学時は児童養護施設に入所しており卒業時に退所してから2年以内の者。 ②小規模居住型児童養育事業(ファミリーホーム)に高等学校卒業まで入所する者、または高等学校在学時は小規模居住型児童養育事業(ファミリーホーム)に入所しており卒業時に退所してから2年以内の者。 ③養育里親家庭への委託措置を高等学校卒業まで受ける者、または高等学校在学時は委託措置を受けており卒業時に委託措置が解除されてから2年以内の者。																			
紺碧の空奨学金																			
学業優秀者																			
入学後																			
40万円(年)単年度支給																			
学部104名以内 研究科45名以内																			
大隈記念奨学金																			
学業優秀者																			
入学時 および 入学後																			
40万円(年)単年度支給																			
35名																			
校友会給付奨学金																			
経済的に修学困難な学生等																			
40万円(年)単年度支給																			
学部200名 研究科188名																			
小野梓記念奨学金																			
経済的に修学困難な学生等																			
40万円(年)単年度支給																			
学部200名 研究科188名																			

日本で トップクラスの 充実度

多種・多様な学内奨学金
(およそ150種類・すべて給付型)
で学生を支援

主入試前予約採用給付奨学金	申請資格(抜粋)	申請期間	奨学金額・支給期間	採用予定人数
めざせ! 都の西北奨学金	一部三県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外に設置された国内高等学校もしくは中等教育学校を、2021年3月卒業見込みの者または2020年3月以降に卒業した者。(注)通信制高校は一部三県以外に在任。専修学校の高等課程修了者、高等専門学校3年次修了者を含む一般選抜・共通テスト利用入試、総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校推薦入試を含む)で受験する者。	第2回 1月6日(水)~ 1月20日(水) 消印有効	入学学部に応じ 毎年45・65・70万円を給付 ※国の修学支援制度と併給の 場合には毎年10・15・20万円を 給付 4年間継続	採用候補者 1,200名 (第1回、第2回合計)
紺碧の空奨学金	①児童養護施設に高等学校卒業まで入所する者、または高等学校在学時は児童養護施設に入所しており卒業時に退所してから2年以内の者。 ②小規模居住型児童養育事業(ファミリーホーム)に高等学校卒業まで入所する者、または高等学校在学時は小規模居住型児童養育事業(ファミリーホーム)に入所しており卒業時に退所してから2年以内の者。 ③養育里親家庭への委託措置を高等学校卒業まで受ける者、または高等学校在学時は委託措置を受けており卒業時に委託措置が解除されてから2年以内の者。	今年度は 終了	①入学検定料および入学 金免除②授業料、実験実 習料等、その他諸経費を 免除③月額9万円を給付 原則として在学中4年間の 継続支援	若干名
大隈記念奨学金	学業優秀者	入学後	40万円(年)単年度支給	学部104名以内 研究科45名以内
校友会給付奨学金	経済的に修学困難な学生等	入学時 および 入学後	40万円(年)単年度支給	35名
小野梓記念奨学金	経済的に修学困難な学生等	入学時 および 入学後	40万円(年)単年度支給	学部200名 研究科188名

※詳細は募集要項(奨学課ウェブサイトよりダウンロード)をご参照ください。 <https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

恒例の、「大学独自の奨学金制度」特集をお届けします。掲載しているのは9月15日までにアンケートに回答のあった大学。大学院、短期大学、外国人留学生、社会人、3年次編入についての奨学金は原則省いています。対象人数が実績ベースのところ、また記載内容が変更されるところもありますので、詳細は必ず各大学にお問い合わせください。また対象学年を限定したものについては極力但し書きを付しましたが「表記は原則「年」で統一」、学部・学科別や、入試方式によって要件の異なるスカラシップ型のものについては詳細を省きました。国公立大学の一部には、前年度のデータのままところもあります。掲載情報とは別に、新型コロナウイルス感染症や災害対応のための奨学金による経済支援を行っている大学もあります。詳細については必ず各大学のHP、パンフレット等でご確認ください。

・記載されている支給期間について、2年以上であっても進級時に成績等による更新の審査が行われることがあり、成績によっては資格を失効する場合があります。・採用人数は、上限または予約採用の候補者数で、実際の採用人数とは異なる場合があります。

注1)奨学金の名称に大学名が入っているものについては、紙面の都合により大学名を省略して掲載しています。例：○○大学奨学金→奨学金

注2) 成...高校在学中の学業成績優秀者対象の奨学金(運動、課外活動など含む) 入...入試成績優秀者対象の奨学金 資...資格取得者対象の奨学金 経...主に経済支援者対象の奨学金 出...定められた地域出身者対象の奨学金 他...課外活動等、その他の奨学金

注3)掲載内容は調査時期(2021年9月)現在のものです。変更されている場合もありますので、各大学のパンフレット・ホームページ等でご確認ください。

注4)「高等教育の修学支援新制度」を利用する場合、各大学の奨学金制度との併用ができない、または給付・減免額の減額等の制限がある場合もありますのでご注意ください。

Table with 4 columns: University Name, Scholarship Name, Eligibility, Amount. Lists various universities and their scholarship programs, including details on eligibility criteria and funding amounts.



Advertisement for Chuo University's scholarship program. Title: 中央大学予約奨学金. Subtitle: 4年間継続して奨学金を給付 授業料相当額の半額. Application period: 2021.10.18~11.19. Text: 入試出願前に奨学金給付採用(内定)が決まる、中央大学独自の奨学金制度です。授業料相当額の半額を、4年間給付します。(毎年度の成績審査あり)。経済的な不安を軽減し、安心して受験に取り組めます。 Contact: 中央大学学生部事務室奨学課. URL: https://www.chuo-u.ac.jp/connect/

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額
亀田医療大学				国士舘大学				東京有明医療大学			
特待生制度	A	10名	減免●入学金の全額および年間授業料(実験実習費・施設管理費含む)の半額	成績優秀奨学生制度	A	50名	減免●入学金、授業料、施設設備費、教材費	授業料免除制度(一般入試成績最優秀入学生)	A	各学科1名	減免●40万円
医療法人鉄蕉会(亀田総合病院)奨学金制度	A他	未定	貸与●45,000円/月 ※条件を満たせば返還を免除	駒澤大学				東京医科大学			
川村学園女子大学				駒沢女子大学				東京医療保健大学			
学校推薦型選抜(指定校)の入学金免除	他		減免●入学金の金額	新人の英知(一般選抜特待生)奨学金	A	64名	給付●授業料相当	授業料及び教育充実費の減免制度	A	49名(2021年度実績)	減免●500万円(2021年度実績)
成績優秀者特待生制度	A	75名	減免●授業料の全額または半額	全学部統一日程選抜奨学金	A	200名	給付●30万円	授業料免除制度	A	20名	減免●授業料の全額または半額
検定資格特待生制度	他		減免●授業料の全額または半額	自己推薦選抜(総合評価型)奨学金	A他	10名	給付●50万円	東京家政大学			
神田外語大学				産業能率大学				東京経済大学			
GLA Freshman Scholarship(特待生スカラシップ)	A	15名	給付●最大200万円	一般選抜 国公立大学併願方式(学費減免)	A		減免●授業料を国立大学の授業料(535,800円)と同額に減免	スカラシップ制度I	A	各学科3~5名程度	減免●入学金の全額および1年間の授業料を減免
敬愛大学				芝浦工業大学				東京工科大学			
特待生制度(一般選抜大学共通テスト利用選抜)	A	若干名	減免●入学金の全額および授業料の半額	一般選抜 未来構想方式5教科型(学費減免)	A		減免●学費を国立大学程度に減免	スカラシップ制度II	A	各学科数名~5名程度	減免●1年間の授業料の半額を減免
秀明大学				順天堂大学				東京工業大学			
給付型奨学金制度	A		給付●A奨学金:100万円 B奨学金:75万円 C奨学金:50万円 D奨学金:30万円 E奨学金:30万円	学費減免制度	A	10名	減免●1年次は入学金200万円のみ(授業料・施設設備費・教育充実費を免除)	奨学生入試	A	103名	給付●130万円
給付型奨学金制度	A		給付●A奨学金:30万円 B奨学金:20万円	入学試験総合成績上位者奨学金	A		2~6年次の学費は各年100万円	東京工芸大学			
淑徳大学				上智大学				東京慈恵会医科大学			
スカラシップ入試	A	約18名	減免●授業料の全額または半額	新入生奨学金	他		減免●授業料の全額、半額、1/3相当	特待生制度	A	5名	減免●授業料の全額
スカラシップ入試	A	約15名	減免●入学金の全額	カトリック高等学校対象特別入学試験奨学金	他		減免●初年度:授業料全額相当額	特待生制度	A	2名	減免●授業料の全額
スカラシップ入試	A	約10名	給付●学費の一部	ソフィア会生活支援奨学金	他	5名	給付●50万円	特別奨学生選抜	A他	3名	減免●授業料・教育充実費の全額または半額
スカラシップ入試	A	約5名	給付●学費の一部	創立100周年記念上智・聖母看護奨学金	他		給付●25万円	東京女子大学			
聖徳大学				情報経営イノベーション専門職大学				東京女子体育大学			
高校成績特待制度(評定値特待制度)	他	無制限	減免●入学金の半額	特待生選抜	A	20名	減免●A:100万円、B:50万円、C:20万円	スカラシップ制度	A	若干名	給付●授業料の半額
資格特待制度	他	無制限	減免●入学金の全額または半額	特待生選抜(学生寮特待生)	A	若干名	減免●寮の費用約40~70万円(寮によって費用は異なる)	東京神学大学			
<得点基準明示型>	他	無制限	減免●S:入学金・授業料・施設費の全額 A:入学金・授業料の全額 B:入学金の全額および授業料の半額	昭和大学				東京聖栄大学			
学力特待制度	A	無制限	減免●授業料の全額および入寮希望者は入寮費(上限)20万円	特待制度	A	286名	減免●初年度の授業料の全額	入学時奨学金	他		減免●授業料補助のための奨学金
実技特待制度	A	無制限	減免●入学金の半額	昭和薬科大学				東京成徳大学			
経済的支援制度	他	無制限	減免●入学金の半額	特待生制度 公募制入試	A	10名	減免●授業料を全額	特待生	A	47名	減免●A特待生:入学金・授業料・施設設備費の全額
千葉経済大学				女子美術大学				東京電機大学			
特待生I	A他	若干名	減免●授業料の全額	特待生	A	2名	減免●授業料の全額	「エンジニアのたまご」奨学金	A		給付●35万円/年(最長4年間の合計額140万円)
特待生II	A	若干名	減免●授業料の全額または半額	杉野服飾大学				東京都市大学			
千葉商科大学				成蹊大学				東京薬科大学			
給費生授業料減免制度	A		減免●授業料の半額	吉祥寺プリリアント奨学金(地方出身学生予約型奨学金)	他	300名	給付●45万円	成績優秀者授業料等免除	A	90名	減免●授業料等(授業料、施設費)の半額
文化スポーツ特待生授業料減免制度	A他		減免●授業料の全額または半額	入学試験特別奨学金	A	5名	給付●授業料の半額	成績優秀者授業料等免除	A	38名	減免●授業料等(授業料、施設費)の全額または半額
入試特待生授業料減免制度	他		減免●授業料の半額	成城大学				東京理科大学			
中央学院大学				聖心女子大学				東邦大学			
特待生制度	A	43名	減免●入学金、授業料相当額	一般入試(3教科方式)	A	60名	給付●授業料の全額または半額相当	入学時の教育充実費減免制度	A	50名	減免●教育充実費の全額または一部
東京情報大学				高千穂大学				二松学舎大学			
特待生チャレンジ制度	A	若干名	減免●授業料の半額	特待生制度	A	20名	減免●授業料の全額	二松学舎 入試奨学生	A	文庫大20名	給付●授業料及び施設費の全額相当
明海大学				拓殖大学				日本歯科大学			
学修奨励奨学金	A他		減免●授業料の全額または半額	特別奨学生奨学金	A他	70名	減免●入学年次の授業料を全額免除	生命歯学部(東京)特待生制度	A	10名	減免●学生納付金の半額
歯学歯士育成特別奨学金	A他		減免●授業料の半額	多摩大学				日本医科大学			
了徳寺大学				中央大学				日本赤十字看護大学			
特待生制度	A	25名	減免●授業料の全額	予約奨学金	他	100名	給付●授業料の半額相当	特待生(授業料免除)制度 特待生A	A	看護:3名	減免●授業料の全額
和洋女子大学				津田塾大学				文化学園大学			
特待生制度	A	36名	減免●授業料および施設費の免除を最大で4年間	<津田スピリット>奨学金(給付・予約型)	他	30名	給付●50万円	特待生制度 AO1期(総合型選抜)	A他	若干名	減免●入学金の半額
青山学院大学				帝京大学				文京学院大学			
地の塩、世の光奨学金	A他	350名	給付●50万円	奨学生特待生	A		減免●Aコース:入学金の半額および授業料の全額	スカラシップA	A	70名	減免●授業料の半額
亜細亜大学				帝京平成大学				武蔵野大学			
特待生	A	151名	減免●入学金と授業料	ちほら台キャンパス学生寮奨学生制度	他		減免●18000円/月(1年次は寮費から、2年次以降は授業料から減免)	学業支援特別給付制度	A	20名	給付●12万円
桜美林大学				東海大学				武蔵野音楽大学			
グローバル人材育成奨学生	A他	30名	給付●語学力向上支援金:各学期10万円 漫遊支援費用:75万円	学修サポート給付型奨学金	A他	50名	給付●40万円	生活支援特別給付制度	A	15名	給付●6万円
嘉悦大学				国際基督教大学				法政大学			
特待生奨学制度	A		減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	ICU Peace Bell奨学金	A他	14名	給付●100万円	チャレンジ法政奨学金(入試出願前予約採用型給付奨学金)	A他	200名	給付●文系学部 38万円(2年次以降20万円) 理工系学部 43万円(2年次以降25万円)
資格優遇特待生制度	他		減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	ICUーチャリラー	A他	48名	減免●入学金および授業料・施設費の1/3相当	星薬科大学			
学習院大学				恵泉女学園大学				武蔵野音楽大学			
入学前予約型給付奨学金「目白の杜奨学金」	A他	100名	給付●100万円	AO入試I期 特待生制度	他	若干名	減免●授業料の半額	入試成績優秀者の授業料免除	A	55名	減免●前期授業料の一部または全額
学習院校友会ふさと給付奨学金	他	10名	給付●50万円	指定校推薦入試I期 奨学生	A	若干名	減免●授業料の半額	帝京平成大学			
学習院女子大学				国士舘大学				東洋学園大学			
入学試験成績優秀者授業料減免制度	A	12名	減免●授業料の全額	特別給費生奨学金	A		減免●区分1:入学時納入金の全額	東洋学園特待生制度	A	若干名	減免●A:90万円 B:45万円 E:最大減免額360万円
北里大学				多摩大学				二松学舎大学			
特別特待奨学生制度(特待生制度)	A	5名	減免●学費の全額	特別給費生奨学金	A		減免●区分2:初学期授業料	特待生制度	A	51名	減免●授業料の全額
特別特待奨学生制度(特待生制度)	A	16名	減免●学費の全額または半額	多摩チャレンジ奨学金	A他	8名	給付●40万円 ※2年目以降の継続可	留学プログラム奨学生制度	A他	175名	その他●留学プログラムの参加費用の全額免除および優先参加
特別特待奨学生制度(特待生制度)	A	若干名	減免●学費の一部または全額	中央大学				日本歯科大学			
獣医師職員養成修学資金制度(獣医学部地域枠特別選抜試験)	A他	各県1名	貸与●高等学校3年次:131.5千円(入学手続時に納入する前期分の費用) 獣医学部生時:県により異なる ※条件を満たせば返還を免除	予約奨学金	他	100名	給付●授業料の半額相当	生命歯学部(東京)特待生制度	A	10名	減免●学生納付金の半額
相模原市地域医療医師修学資金貸付制度(医学部一般選抜試験(相模原市修学資金枠))	A他	2名	貸与●入学金・授業料・施設設備費、教育充実費 ※条件を満たせば返還を免除	津田塾大学				日本医科大学			
山梨県医師修学資金制度(医学部地域枠選抜試験)	A他	2名(認可申請中)	貸与●13万円/月 ※条件を満たせば返還を免除	<津田スピリット>奨学金(給付・予約型)	他	30名	給付●50万円	新潟生命歯学部特待生制度	A	30名	減免●学生納付金の半額
神奈川県地域医療医師修学資金制度(医学部地域枠選抜試験)	A他	5名(認可申請中)	貸与●10万円/月 ※条件を満たせば返還を免除	帝京大学				文化学園大学			
茨城県地域医療医師修学資金貸与制度(医学部地域枠選抜試験)	A他	2名(認可申請中)	貸与●25万円/月 ※条件を満たせば返還を免除	奨学生特待生	A		減免●Aコース:入学金の半額および授業料の全額	特待生制度 AO1期(総合型選抜)	A他	若干名	減免●入学金の半額
杏林大学				多摩大学				文京学院大学			
学納金の一部免除	A	5名	減免●学納金の一部(初年度800万円、2年次200万円)	入学前給付決定型奨学金制度(地方創生給付奨学金)	A他		給付●経済(地域経済):40万円 理工:55万円 医療技術(柔道整復):65万円	学業支援特別給付制度	A	20名	給付●12万円
国立音楽大学				中央大学				法政大学			
音楽学部 特別給費奨学金	A	10名	減免●学費(入学金を除く)の全額または半額、または1/4	予約奨学金	他	100名	給付●授業料の半額相当	生活支援特別給付制度	A	15名	給付●6万円
慶應義塾大学				帝京大学				文京学院大学			
学問のすゝめ奨学金	他	550名以上	給付●80万円(医90万円、薬80万円) 初年度は上記の金額に入学相当(20万円)を加算 入学2年目以降は成績優秀者の奨学金額を増額	奨学生特待生	A		減免●Aコース:入学金の半額および授業料の全額	通学支援特別給付制度	A		
恵泉女学園大学				帝京平成大学				法政大学			
AO入試I期 特待生制度	他	若干名	減免●授業料の半額	ちほら台キャンパス学生寮奨学生制度	他		減免●18000円/月(1年次は寮費から、2年次以降は授業料から減免)	チャレンジ法政奨学金(入試出願前予約採用型給付奨学金)	A他	200名	給付●文系学部 38万円(2年次以降20万円) 理工系学部 43万円(2年次以降25万円)
指定校推薦入試I期 奨学生	A	若干名	減免●授業料の半額	東海大学				星薬科大学			
特別スカラシップ入試	A他	若干名	減免●①授業料の全額、②授業料の半額、③授業料の半額(1年間)	学修サポート給付型奨学金	A他	50名	給付●40万円	入試成績優秀者の授業料免除	A	55名	減免●前期授業料の一部または全額
語学検定型選抜I期 特待生	A	若干名	給付●短期海外研修給付奨学金10万円及び長期留学中の在籍料を免除(いずれも参加決定者のおに給付)	医学部医学科特別貸与奨学金	A他	10名	給付●40万円 貸与・その他●年額200万円(総額1200万円) ※条件を満たせば返還を免除	武蔵野大学			
一般選抜A方式 特待生	A	各学部5名	減免●入試の成績が優秀な合格者に対して奨学金を給付	国際基督教大学				法政大学			
工学院大学				恵泉女学園大学				文京学院大学			
工学院大学入学試験成績優秀者奨学金(S日程)	A	47名(前年実績)	給付●授業料の全額	AO入試I期 特待生制度	他	若干名	減免●授業料の半額	学業支援特別給付制度	A	70名	減免●授業料の半額
工学院大学入学試験成績優秀者奨学金(A日程)	A	69名(前年実績)	減免●授業料の半額	指定校推薦入試I期 奨学生	A	若干名	減免●授業料の半額	生活支援特別給付制度	A	20名	給付●12万円
工学院大学入学試験成績優秀者奨学金(大学入学共通テスト利用前期日程)	A	248名(前年実績)	減免●授業料の半額	特別スカラシップ入試	A他	若干名	減免●①授業料の全額、②授業料の半額、③授業料の半額(1年間)	通学支援特別給付制度	A	15名	給付●6万円
工学院大学入学試験成績優秀者奨学金(探究成果活用型選抜)	A		減免●授業料の半額	語学検定型選抜I期 特待生	A	若干名	給付●短期海外研修給付奨学金10万円及び長期留学中の在籍料を免除(いずれも参加決定者のおに給付)	法政大学	A他	200名	給付●文系学部 38万円(2年次以降20万円) 理工系学部 43万円(2年次以降25万円)
国際基督教大学				恵泉女学園大学				文京学院大学			
ICU Peace Bell奨学金	A他	14名	給付●100万円	AO入試I期 特待生制度	他	若干名	減免●授業料の半額	学業支援特別給付制度	A	70名	減免●授業料の半額
ICUーチャリラー	A他	48名	減免●入学金および授業料・施設費の1/3相当	指定校推薦入試I期 奨学生	A	若干名	減免●授業料の半額	生活支援特別給付制度	A	20名	給付●12万円
High Endeavor奨学金	A他			特別スカラシップ入試	A他	若干名	減免●①授業料の全額、②授業料の半額、③授業料の半額(1年間)	通学支援特別給付制度	A	15名	給付●6万円

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付 / 貸与(利息の有無) / 免除 / 減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付 / 貸与(利息の有無) / 免除 / 減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付 / 貸与(利息の有無) / 免除 / 減免●金額
明治大学				新潟経営大学				静岡福祉大学			
お・明治奨学金	入出	1000名	給付●年間授業料の半額(1年次は減免、2年次以降は給付)	特待生制度	入	3名	減免●入学金と授業料等の全額または半額	スカラシップ生(特待生)	入		減免●授業料の全額または半額
特別給費奨学金	入		減免●授業料の全額	資格特待生制度	入		給付●4年間の学納金相当、1年次の学納金相当	特別スカラシップ生	入		減免●授業料の全額
明治学院大学				新潟工科大学				静岡理工科大学			
白金の丘奨学金	入出	200名	給付●40万円(授業料・施設費と相殺)	推薦特待生	入	15名	減免●学納金の60%または30%	授業料サポート100	入	30名	減免●100万円
明治薬科大学				新潟産業大学				聖隷クリストファー大学			
めざせ明薬・予約型奨学金	入	85名	給付●100万円	一般特待生	入	25名	減免●学納金の全額または60%	授業料サポート50	入	対象の選抜により異なる	減免●50万円
入学特待生制度	入	39名	減免●授業料の全額	資格特待生制度	入		減免●学納金の30%	入学金サポート30	入	20名	減免●入学金の全額
明星大学				新潟食料農業大学				常葉大学			
明星大学特別奨学生奨学金	入	最大90名程度	給付●50万円または20万円	入学金免除制度(専願割引)	入	40名	減免●入学金の全額	入学応援給費	入	人数制限なし	減免●入学金10万円
目白大学				新潟薬科大学				浜松学院大学			
予約奨学金	入	100名	減免●授業料の半額	特待生制度	入		減免●S:学費の全額、A:学費の半額、B:学費の1/4	給費生制度(入学時成績給付)	入	12名	減免●10万円~40万円
入学試験優秀者特別奨学金	入	100名	減免●入学金の全額	特待生制度	入		減免●S:学費の半額、A:学費の1/4、B:学費の1/10	給費生制度(経済的困難給付)	入出	若干名	減免●施設設備費・教育充実費の全額または半額
ヤマザキ動物看護大学				高岡法科大学				愛知医科大学			
特待生制度 総合型選抜(A日程)・学校推薦型選抜	入出		減免●15万円	法学部特待生制度	入		減免●授業料の全額または半額	成績優秀者学納金減免制度	入	50名	減免●教育充実費及び実験実習費の全額
特待生制度 一般選抜(1期)・共通テスト利用型選抜(1期)	入	10名	減免●20万円	富山国際大学				愛知学院大学			
立教大学				金沢学院大学				愛知工業大学			
自由の学府奨学金	入出	500名	給付●文系学部50万円、理学部70万円(原則4年間、継続審査有)	特別奨学生奨学金	入	若干名	給付●30万円	新入生特待生制度	入	264名	減免●125万円以上
GLAP奨学金	入	若干名	給付●120万円(原則4年間、継続審査有)	金沢工業大学				愛知工科大学			
コミュニティ福祉学部	入出	若干名	給付●学費その他の納入金相当	特別奨学生制度	入	50名	減免●897,200円(2年次以降979,200円)	指定校特待奨学金制度	入		減免●入学金の全額
田中孝奨学金(児童養護)	入出	若干名	給付●学費とその他の納入金相当	スカラシップフェロー	入	65名	減免●25万円	大学入学共通テスト利用奨学金制度	入		減免●前期授業料、教育充実費、施設費の全額
立正大学				金沢星稜大学				愛知工業大学			
特別奨学生TOP150	入	150名	給付●40万円	家賃・遠距離通学費支援制度	入出		給付●通学費用またはアパート等の住居費の補助(年額24万円以内)	学力奨学生・選抜奨学生(一般前期A方式)	入	各専攻募集人員の5%	給付●授業料の半額相当
ルーテル学院大学				北陸大学				愛知東邦大学			
特待生制度	入	3名	減免●初年度50万円、翌年度以降30万円	特待生奨学金(S特待生)	入		減免●授業料の全額	東邦STEP奨学生入試	入	若干名	給付●授業料と東邦STEP受講料の相当
指定校優秀者給付奨学金	入出	5名	減免●50万円	特待生奨学金(A特待生)	入		減免●授業料の全額	愛知文教大学			
児童福祉給付奨学金	入		減免●20万円	21世紀人材育成奨学金	入		減免●20万円	ABU特待生奨学金制度	入出	3名	給付●授業料の全額または半額相当
和光大学				仁愛大学				福井工業大学			
輝け!未来の和光ルービー	入出	30名	給付●45万円	特待生制度	入出	各学科4名	減免●4年間の授業料半額免除	指定校奨学金制度	入出	3名	給付●授業料の全額または半額相当
和光大学給付奨学金(入学前採用)	入		減免●授業料と施設設備資金の全額(105万円)	推薦選抜奨学金制度	入		減免●授業料の半額	特別奨学生試験制度	入	5名	給付●入学金と授業料の全額相当
特待生選抜	入		要件を満たした者全員	一般選抜奨学金制度	入		減免●第一種・入学金と授業料の全額	奨学A制度	入出	若干名	給付●授業料相当
早稲田大学				山梨英和大学				一宮研伸大学			
めざせ! 都の西北奨学金	入出	1200名	給付●45万円(政治経済、法、文化構想、文、教育(文系)、商、社会科学) 65万円(人間科学、スポーツ科学、国際教養) 70万円(教育(理系)、基幹理工、創造理工、先進理工)	資格等特待生制度	入出	制限なし	減免●授業料の全額	特待生制度	入	若干名	減免●半期の授業料の全額または半額
紺碧の空奨学金	入出	若干名	給付●減免●入学検定料および入学金免除授業料、実験実習料等、その他諸経費を全額免除9万円/月(上限)	給付奨学金(S種)	入出	制限なし	減免●30万円	桜花学園大学	入出	30名	給付●70万円
神奈川大学				健康科学大学				岡崎女子大学			
予約型奨学金	入出	200名	給付●神奈川・東京出身の学生 文系学部 年額20万円 / 理・工・建築学部 年額30万円 神奈川・東京以外出身の学生 文系学部 年額40万円 / 理・工・建築学部 年額50万円	特待生奨学金	入	若干名	給付●入学金の全額相当	トリムサポート(成績上位者対象)	入	5名	給付●70万円
給費生	入		給付●入学金相当額に加え 法・経済・人間科学部 年額100万円 経営・外国語・国際日本学部 年額110万円 理・工学部 年額135万円 建築学部 年額145万円 (自宅外通学者には生活援助金年間70万円)	特待生奨学金	入		減免●10万円	トリムサポートS(単願入試合格者対象)	入	5名	給付●70万円
神奈川工科大学				長野大学				愛知文教大学			
[スーパーサイエンス特別専攻]対象	入		給付●60万円	特待生制度	入出	各学科4名	減免●4年間の授業料半額免除	特別奨学生試験制度	入	5名	給付●入学金と授業料の全額相当
授業料給費スカラシップ	入		給付●40万円	推薦選抜奨学金制度	入		減免●授業料の半額	奨学B制度	入出	若干名	給付●2万円/月
授業料給費スカラシップ	入		給付●40万円	一般選抜奨学金制度	入		減免●第一種・入学金と授業料の全額	一宮研伸大学			
鎌倉女子大学				山梨英和大学				桜花学園大学			
特待生チャレンジ	入	50名	減免●授業料・施設費のうち30万円・60万円・90万円・120万円・150万円	資格等特待生制度	入出	制限なし	減免●授業料の全額	トリムサポート(成績上位者対象)	入	30名	給付●70万円
鳥っ子応援奨学金(予約型)	入出	若干名(短大含む)	減免●自宅生:15万円5万円、自宅外生:30万円10万円	給付奨学金(S種)	入出	制限なし	減免●30万円	トリムサポートS(単願入試合格者対象)	入	5名	給付●70万円
関東学院大学				佐久大学				岡崎女子大学			
スカラシップ制度	入	100名	減免●入学金と授業料の全額	特別奨学生制度	入		減免●授業料の半額	奨学A制度	入出	若干名	給付●授業料相当
湘南工科大学				清泉女学院大学				一宮研伸大学			
大学入学共通テスト利用選抜(前期) 入学金減免制度	入	30名	減免●入学金の半額	ラファエラ・マリアスカラシップ I-①(入学時選考型)	入出	各学科ごとに定める	給付●入学金の全額相当	奨学B制度	入出	若干名	給付●2万円/月
一般選抜S方式(3科目型)	入	40名	給付●入学金20万円および授業料20万円/年(4年間で最大100万円)	<総合型選抜(特待方式)>	入出			一宮研伸大学			
減免制度	入	10名	給付●入学金20万円および授業料20万円/年(4年間で最大100万円)	長野保健医療大学				星城大学			
一般選抜S方式(2科目型)減免制度	入	10名	給付●入学金20万円および授業料20万円/年(4年間で最大100万円)	特別奨学制度 特別奨学生	入出	各学部1名	減免●S:4年間の授業料の全額 A:1年次の授業料の1/3	特待生奨学金	入出	3名	給付●入学金、学納金の全額および学生生活支援金1万円/月
昭和音楽大学				松本大学				修文大学			
特待生選抜	入	50名	減免●授業料・施設費のうち30万円・60万円・90万円・120万円・150万円	学力特待生資格(学費優遇措置)	入	若干名	減免●授業料の全額または半額または入学金の全額	特待生制度[S100][S50]	入出	募集人員の10%	減免●S100:授業料の全額 S50:授業料の半額
学費支援奨学金制度	入出		減免●自宅生:15万円5万円、自宅外生:30万円10万円	減免●学費を国立大学と同等額に減免	入	若干名	減免●学費を国立大学と同等額に減免	椋山女学園大学			
聖マリアンナ医科大学				松本歯科大学				星城大学			
特待生	入		減免●授業料・教育維持費・教育充実費相当(540万円)	入学金免除制度 沖縄県及び離島出身者優遇制度	入	5名	減免●授業料を70万円に減免	看護学部奨学金A	入	8名	給付●60万円
鶴見大学				朝日大学				中京大学			
歯学部 新入生特待奨学生制度	入	30名	減免●学納金のうち350万円、200万円、100万円	学業奨励奨学金	入出	有資格者全員	給付●授業料の全額または半額相当	総合・推薦型入学時特別奨学生	入	30名	給付●入学金の全額または半額相当
文学部 奨学特待生選抜試験	入	20名	減免●学納金の全額または半額	会計奨励奨学金	入	有資格者全員	給付●授業料の全額または半額相当	学力系入学時特別奨学生	入	50名	減免●年額120万円または60万円
田園調布学園大学				岐阜医療科学大学				中京大学			
学費減免チャレンジ入試制度	入	34人(2021年度実績)	減免●SS:授業料の全額 S1:授業料の半額 S1:授業料の30% S3:入学金の全額	看護学部 特別奨学金制度	入	20名	給付●授業料の全額または半額相当	入試成績優秀者給付奨学金	入出	235名	給付●入学金・授業料・教育充実費
桐蔭横浜大学				岐阜協立大学				中部大学			
学部入学特待生制度	入		減免●授業料の全額	スカラシップ制度	入		減免●授業料の全額または70%または50%または30%	梅村学園100周年記念留学給付奨学金	入出	30名	給付●1セメスター以上の留学をするための費用として100万円を給付(在学中1回)※留学後に給付
東洋英和女学院大学				岐阜女子大学				同朋大学			
スカラシップ入試	入	41名	減免●授業料など1214万円	奨学生制度	入	各学科6名	給付●2万円/月(合計96万円)	特別奨学生	入	98名(2021年度実績)	減免●入学科および授業料等の全額
日本映画大学				中京学院大学				豊橋創造大学			
成績優秀者に対する授業料減免制度	入	若干名	減免●授業料の全額	奨学金制度	入	10名	給付●3万円/月(合計216万円)	スカラシップ50特待生	入		減免●入学金を除く学納金の半額
横浜商科大学				静岡英和学院大学				名古屋音楽大学			
学費免除奨学生	入		減免●入学金、授業料(最大4年間)、施設設備費(2年間)	特待生制度	入		減免●入学金の全額、授業料の半額、授業料の全額、入学金・学納金の全額のうちいずれか	一般選抜(実技系特待生)	入	10名	給付●授業料の全額または半額または1/4相当
授業料免除奨学生 総合型選抜[奨学生]	入		減免●授業料の全額	推薦スカラシップ	入	5%程度	減免●授業料の全額	特待生試験	入		給付●授業料の全額
授業料免除奨学生 入学試験減額上位者	入		減免●授業料の半額	一般スカラシップ	入	制限なし	減免●授業料の半額	共通テスト利用入試	入		給付●授業料の半額
授業料免除奨学生 資格取得者	入		減免●授業料の半額	共通テスト利用スカラシップ	入	制限なし	減免●授業料の全額または半額	遠隔地に在在する受験生への入学金免除・還付制度	出		給付●減免●入学金の全額(専願は免除、併願は入学後還付)
入学金給付制度	入		給付●入学金の全額相当	中部学院大学				名古屋経済大学			
入学金給付制度 総合型選抜[特別]入試合格者	入		給付●入学金の半額相当	指定校推薦入試特別奨学金制度	入		減免●授業料の全額または半額または入学金の全額	プラチナ特典I(プラチナ奨学生選抜入試)	入		給付●授業料の全額
横浜美術大学				静岡産業大学				名古屋芸術大学			
特待生制度 一般A/B	入	上限6名	減免●授業料の全額または1/2	学業特待生	入		減免●入学金の全額、授業料の半額、授業料の全額のうちいずれか	特別選抜[エキスパート入試]	入	2名	減免●授業料、教育充実費および実習費の全額
特待生制度 学校推薦型選抜(特待生選抜)	入	上限10名	減免●授業料の1/2または1/4	推薦スカラシップ	入	5%程度	減免●授業料の半額	一般選抜[一般入試1期]	入	5名	減免●授業料、教育充実費および実習費の全額
特待生制度 特待生チャレンジ	入	上限10名	減免●授業料の1/2または1/4	一般スカラシップ	入	制限なし	減免●授業料の半額	特待生制度(A特待)	入		減免●入学金の全額
敬和学園大学				静岡英和学院大学				名古屋経済大学			
学業特待生	入	18名	減免●授業料の全額または一部(47万円)	特別奨学生入試	入	30名	減免●授業料の全額または半額	遠隔地に在在する受験生への入学金免除・還付制度	出		給付●減免●入学金の全額(専願は免除、併願は入学後還付)
資格特待生	入	該当者	減免●授業料の全額または一部(47万円)	中京学院大学				名古屋経済大学			
推薦特待生	入出	若干名	減免●授業料の全額または一部(47万円)または半額	英語検定取得者特別奨学金	入		減免●授業料の全額または半額または入学金の全額	プラチナ特典II(一般入試前期、共通テスト利用入試)	入		給付●授業料の半額
長岡大学				静岡英和学院大学				名古屋経済大学			
米百俵奨学金	入	制限なし	減免●授業料の1/3	学業優秀者奨学金	入		減免●授業料の全額または半額または入学金の全額	特別選抜[社会人][海外帰国生][外国人留学生]特待生制度	入	5名	減免●入学金および学費の全額
大学入学共通テスト利用特待生制度	入	6名	減免●授業料と施設費の全額または半額	修学支援奨学金	入		給付●10万円	名古屋経済大学			
新潟医療福祉大学				静岡英和学院大学				名古屋経済大学			
特待生制度 A特待生	入	30名	減免●授業料の全額	羽田奨学金	入		給付●10万円	プラチナ特典III(プラチナ奨学生選抜入試)	入		給付●授業料の全額
特待生制度 B特待生	入	40名	減免●授業料の全額	静岡英和学院大学				名古屋経済大学			

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額
名古屋産業大学				京都先端科学大学				大阪経済法科大学			
初年度経済支援制度	■		減免●入学金の半額	スーパートップスカラシップ	■		給付・減免●入学金および学費(授業料、施設設備費、実験実習費)の全額免除。修学支援金として年間120万円を給付	特別奨学生制度	■	250名	減免●学費の全額
学業特待生制度	■		減免●授業料の半額または1/4	成績優秀者特別奨学金	■		減免●各学期の授業料の全額	国際学部特別奨学生制度(資格型)	■	若干名	減免●学費の全額または入学金
遠隔地入学生支援制度	■		給付●8万円	成績優秀者特別奨学金	■		減免●各学期の授業料の半額	資格取得奨学金 入学後に支給(学費納付後)	■		給付●入学金の全額から半額相当
沖縄離島経済支援奨学生制度	■		減免●入学金や授業料の優遇制度	指定校特別奨学金	■		減免●各学期の授業料の1/4相当				
名古屋女子大学				京都橋大学				大阪芸術大学			
越原学園創立100周年記念学長特別奨学金	■	100名(短大含む)	給付●12万円	入学時成績優秀者特別奨学金	■	各学部の入学定員の10%	給付●後期授業料相当	学費全額免除特待生制度	■		減免●学費の全額
								初年度授業料全額免除制度	■		減免●授業料の全額
名古屋文理大学				京都ノートルダム女子大学				新入生奨学金	■	200名	給付●30万円
総合型選抜 高大接続入試(ワークショップ参加型奨学生)	■	各学科若千名	減免●入学金相当	学校推薦入試期奨学金	■	20名	減免●20万円	【世紀のダヴィンチを探せ!】高校生アートコンペティション学費免除制度	■		減免●学費全額免除(4年間)または入学手続納入金免除または入学金免除
総合型選抜 高大接続入試(資格取得型奨学生)	■	各学科若千名	減免●入学金相当	特待生制度(スカラシップ選考1I)	■	28名	減免●授業料の半額				
総合型選抜 高大接続入試(専門課程生徒対象奨学生)	■	各学科若千名	減免●授業料の半額相当					大阪工業大学			
総合型選抜 高大接続入試(スポーツ奨学生)	■	各学科若千名	減免●施設設備費相当	京都美術工芸大学				特待奨学生	■	17名(2021年度実績)	減免●授業料の全額
入試奨学金 一般(前期)	■	各学科若千名	減免●授業料の半額相当	総合型選抜入試教育支援奨学金	■		給付●15万円	入試選抜奨学生	■	163名(2021年度実績)	減免●授業料の半額
入試奨学金 共通テスト利用(前期)3科目型	■	各学科若千名	減免●授業料の半額相当					大阪国際大学			
入試奨学金 共通テスト利用(前期)2科目型	■	対象者全員	減免●授業料の半額相当	京都文教大学				特待生制度	■	53名	減免●授業料の全額
入試奨学金 共通テスト利用(前期)2科目型	■	対象者全員	減免●授業料の半額相当	入学試験成績優秀者奨学金	■		給付●25万円	大阪産業大学			
								入学試験成績優秀者学費減免制度(一般前期C日程)	■	各学科上位20%	減免●国立大と同等の授業料額に減免
日本赤十字豊田看護大学				京都薬科大学				入学試験成績優秀者学費減免制度(共通テスト利用(5教科型))	■	各学科上位10%	減免●授業料等の全額
特待生制度	■	5名	減免●授業料の全額	新入生特待生	■	10名	給付●半期授業料相当				
				遠隔地出身学生(新入生予約制度)	■	12名	給付●60万円(5万円/月)	大阪歯科大学			
日本福祉大学				嵯峨美術大学				成績優秀者特待生制度 A種	■	1名	減免●学納金(入学金を除く)の全額(2年次以降は授業料の全額)
社会福祉学部 スカラシップ入学試験	■	20名	減免●入学金の半額および授業料の半額	総合型選抜教育支援奨学金	■		減免●入学金の半額	成績優秀者特待生制度 B種	■	15名	減免●学納金(入学金を除く)の全額
				[至誠仁術]推薦型選抜奨学金	■		減免●入学金の半額	成績優秀者特待生制度 A種	■	2名	減免●授業料の全額
人間環境大学				スカラシップ(特別奨学生)	■		減免●50万円	成績優秀者特待生制度 B種	■	8名	減免●授業料の全額
特別奨学金制度	■	120名	減免●授業料の全額または半額	選抜奨学金	■			大阪商業大学			
				花園大学				新入生奨学金(公募推薦A日程)	■		給付●学費の1/4相当
名城大学				学業特待生奨学金	■		減免●授業料の全額または半額	新入生奨学金(指定校連携入学試験チャレンジ制度)	■		給付●学費の1/4相当
入試成績優秀奨学生	■	400名	給付●授業料の半額相当	佛教大学				新入生奨学金(一般前期A/B日程受験者)	■		給付●学費の1/2相当
				入学試験成績優秀者奨学金	■	28名(2021年度実績)	給付●半期学費相当	全商協会資格利用入試 減免制度	■		減免●入学金・学費の半額
皇學館大学				平安女学院大学				資格利用入学試験 減免制度	■		減免●学費の1/4相当
特別奨学生	■	16名程度	給付●授業料と教育充実費(入学金除く)の半額	指定校推薦入学金免除制度	■		減免●入学金の全額または半額	大阪女学院大学			
特待生	■	若干名	給付●授業料と教育充実費(入学金除く)の半額	保育技術検定取得者入学金免除制度	■		減免●入学金の全額または半額	特別給付奨学金制度	■		減免●A:100万円 B:50万円 C:25万円
				減免制度	■		減免●入学金の半額	Wilmina Spirit Scholarship(自律学修応援奨学金)	■		減免●18万円/年(半年9万円)※4年次一期分まで
鈴鹿大学				減免制度	■		減免●入学金の半額	自宅通学圏外学生支援奨学金	■		減免●24万円
総合型選抜-学校推薦型選抜奨学金	■	各学部1~2名	給付●入学金相当または10万円	成績優秀者特別奨学金制度	■	合格者の上位5%	減免●学費の半額(秋学期分)	大阪体育大学			
				明治国際医療大学				スポーツ奨学金制度	■	若干名	減免●授業料と施設費
鈴鹿医療科学大学				特待生選抜制度(一般共通テストA)	■	上位10%	給付●授業料の全額または半額	入学試験成績優秀者奨学金制度	■	若干名	減免●授業料の全額相当
特待生(授業料減免)制度	■	101名(2021年度実績)	減免●授業料の半額	龍谷大学				入学試験成績優秀者奨学金制度(一般入試前期)	■	50名	減免●学費の全額または半額(入学金・諸経費は除く)
				近畿圏外からの進学支援奨学金	■		給付●10万円	大阪人間科学大学			
四日市大学				藍野大学				スカラシップ制度(奨学金給付制度)	■		減免●授業料を減免
入試特待生	■	30名	減免●522,500円または313,500円	特待生制度	■	若干名	減免●A:入学金の全額および授業料の半額	遠隔地学生奨学金制度	■		減免●40万円
人間たれ奨学金	■	20名	減免●54万円(入学金20万円、授業料34万円)	自宅外通学者奨学金給付制度	■	若干名	給付●5万円/月	(予約採用奨学金給付制度)	■		減免●授業料の全額
				追手門学院大学				学校推薦型選抜(指定校)における奨学金制度	■	入学者全員	減免●入学金の全額
成安造形大学				桜みらい奨学金入学前未定型	■	147名(2021年度実績)	減免●授業料の全額相当	大阪物療大学			
総合型選抜入試(1期)特待生<面接方式>	■	6名	減免●年間授業料69.8万円に減免	大阪医科薬科大学				一般選抜特待奨学金制度	■	2名	給付●授業料等の半額相当
総合型選抜入試(4期)特待生<実技方式>	■	24名	減免●年間授業料69.8万円に減免	入学時特待生制度(医学部学生)	■	75名	減免●242万円	関西大学			
一般選抜入試(1期)特待生所得制限型<大学入学共通テスト利用方式>	■	5名	減免●年間授業料69.8万円に減免	[至誠仁術]入試学費減免制度(医学部学生)	■	3名	減免●実習料、施設拡充費、教育充実費の半額	「学の実化(かくのじつじや)」入学前予約採用型給付奨学金	■		条件を満たすもの全員
一般選抜入試(1期)特待生所得制限型	■	5名	減免●年間授業料69.8万円に減免	入学時特待生制度(看護学部学生)	■	4名	給付●50万円	特待生制度	■	30名	減免●授業料(前期)、実験実習費、施設設備費
				[至誠仁術]入試学費減免制度(看護学部学生)	■	3名	減免●実習料、施設拡充費の全額	特待生制度	■	10名	減免●授業料(前期)、実験実習費および教育充実費の全額
長浜バイオ大学				入学時特待生制度(薬学部学生)	■	70名	給付●施設・設備費の全額	特待生制度	■	1名	減免●授業料(前期)、実験実習費および教育充実費の全額
成績優秀者学費等減免制度(特別奨学生)	■	125名(2021年度実績)	減免●授業料の半額	大阪学院大学				藤森民子賞	■	1名	給付●500万円
				学費減免制度 公募推薦	■	若干名	減免●学費の半額	関西外国語大学			
びわこ学院大学				学費減免制度 スポーツ文化活動	■	若干名	減免●20万円	グローバル人材育成特待生奨学金	■	50名	減免●授業料の全額
特別奨学生制度(大学入学共通テスト利用選抜A日程)	■	10名	減免●授業料・施設設備費の半額	学費減免制度 指定校	■	若干名	減免●年間学費の2~3割	谷本入学時支援奨学金	■		減免●入学金・授業料等(春学期授業料、春学期教育充実費)の半額
スポーツ特別奨学生制度	■	5名	減免●授業料・施設設備費の全額または半額	学費減免制度 総合選抜(特待生奨学金)	■	若干名	減免●学費の3割~全額	関西福祉科学大学			
				学費減免制度 一般	■	若干名	減免●学費の半額	学校推薦型選抜(公募A<基礎能力型>)奨学金	■	25名	給付●学納金の半額相当
大谷大学				学費減免制度 共通テスト利用	■	若干名	減免●学費の半額	一般選抜奨学金	■	46名	給付●学納金の1/3相当
入試特別奨学金	■		給付●半期授業料相当	大阪河崎リハビリテーション大学				大学入学共通テスト利用選抜奨学金	■	15名	給付●学納金の1/3相当
				特待生(新入生対象)	■	人数制限なし	減免●初年度授業料の全額免除(総合得点85%以上)	学校推薦型選抜(課外活動)奨学金	■	50名	給付●10~30万円
京都医療科学大学				指定校奨学金制度A	■	入学者全員	減免●初年度授業料の1/2免除(総合得点75%以上)	遠隔地学生奨学金	■		給付●3万円/月
特待新入生奨学金	■	6名	給付●90万円または45万円	指定校奨学金制度B	■	入学者全員	給付●入学金の全額相当	近畿大学			
				大阪観光大学				入学前予約採用型給付奨学金	■	150人	給付●30万円
京都外国語大学				予約奨学金制度	■	年内合格者20名	減免●入学金免除、授業料減免	入学試験の成績優秀者対象特待生	■		減免●授業料の全額(産業理工学部は授業料の全額または半額)※対象の試験、選考基準等は学部により異なります。
入学金免除制度	■		減免●入学金の全額	特待生制度	■		減免●入学金免除、授業料減免				
京都華頂大学				大阪経済大学							
入学時成績優秀者特別奨学生制度	■	4名	給付●授業料の半額相当	入試成績優秀者特別奨学金	■	30名	給付●秋学期授業料				
京都光華女子大学											
こども教育学科 特待生奨学金	■	5名	給付●入学金および授業料相当								
資格特待生制度	■		給付●前期学費(授業料等)相当または入学金相当								
京都産業大学											
入学試験成績優秀者奨学金(一般前期中期)スタンダード3科目型	■	100名	給付●半期分の学費相当								
入学試験成績優秀者奨学金(次世代型リーダー選抜)	■	2名	給付●半期分の学費相当								

給付期間は4年!!

昨年採用内定実績 約200名

関西大学「学の実化」入学前予約採用型給付奨学金

2021年度入試受験予定者対象 出願前に採用内定が決定

一般入試・共通テスト利用入試の出願前に採用内定が決定する【返還義務のない】給付奨学金制度です。

※本奨学金の申請・選考結果は、入学試験の得点や合否に影響を与えるものではありません。 ※本奨学金への申請や採用内定をもって他大学への受験や進学を制限することはありません。

※高等学校での評定平均値や、家計支持者の所得金額による基準があります。申し込み前に、必ず関西大学奨学支援グループのWebサイトをご確認ください。

※国の修学支援新制度の対象者は、給付額が減額調整されます。詳細については奨学支援グループまでお問い合わせください。

給付金額:年額30万円~55万円(学部・出身高校の地域により異なる) ◆2020年度入学生の実績を記載しており、今後、変更が生じる可能性があります。

給付期間:標準修業年限(4年間)(継続審査あり) 申請受付期間:2020.11.5(木)~12.2(水) ※最終日消印有効

申請から採用までの流れ



奨学金に関するお問い合わせ <https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>
 入試に関するお問い合わせ <https://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

関西大学



関大 奨学金 検索

大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額	大学名/奨学金の名称・種類	対象者	採用人数	給付/貸与(利息の有無)/免除/減免●金額
四天王寺大学				神戸芸術工科大学				就実大学			
入学試験成績優秀者奨学金	A		給付●入学金相当30万円	新入生特待生	A	19名	給付●授業料の半額相当	特待生(薬学部)	A		減免●A:459万円(年間76.5万円×6年間)
入学試験成績優秀者遠隔地奨学金	A/B		給付●入学金相当30万円	ジュニアマスター・ゴール特待生	A/B		給付●授業料の全額相当				S1:945万円(年間153万円×6年間)+入学金27万円
経営学部 総合奨学金	A		給付●授業料の全額または半額相当	ジュニアマスター・シルバー特待生	A/B		給付●授業料の半額相当	特待生(人文科学・教育)	A	各学科5名	S2:472.5万円(年間76.5万円×6年間)+入学金13.5万円
看護学部 特別奨学金	A		給付●授業料の全額または半額相当	指定資格等取得特待生	A/B		給付●授業料の1/4相当	特待生(経営)	A	各学科5名 10名	B2:275.4万円(年間45.9万円×6年間)
摂南大学				神戸国際大学				中国学園大学			
特別奨学金	A	429名	給付●授業料と教育充実費の全額または半額相当	学費減免制度	A	15名	減免●入学金の半額および授業料の半額	学業成績特待生制度	A	若干名	減免●入学金の全額および授業料の全額または半額
千里金剛大学				神戸松蔭女子学院大学				ノートルダム清心女子大学			
チャレンジAO指定校型	A		減免●入学金の全額および授業料25万円	夢・未来サポート特待生制度	A		減免●授業料の全額	清心ブルー&ゴールド奨学金	A	各学科定員の5%	減免●授業料4年間全額免除
生活科学部食物栄養学科	A	各入試5名以内	減免●授業料の半額	夢・未来サポート特待生制度	A		減免●授業料の半額				※学部2年生以降継続審査有
特待生奨学金	A	各入試5名以内	減免●授業料の半額	夢・未来サポート特待生制度	A		減免●入学金の全額	美作大学			
生活科学部児童教育学科	A	各入試5名以内	減免●授業料の半額	指定校特待生制度	A		減免●入学金の全額	エリザベト音楽大学			
特待生奨学金	A	食物栄養5名 程度児童教育4名程度 看護10名程度	減免●24万円	神戸女学院大学				比治山大学			
入学試験成績優秀者奨学金	A		減免●12万円※大学から自宅までの最経営業距離が70km以上の下宿・マンション居住者	入学試験成績優秀者給与奨学金	A		給付●入学金および授業料の半額相当	スクラッシュ入学試験(学校推薦型選抜 指定校・公募制専願)	A	各学科2名	減免●前期の授業料
太成学院大学				神戸親和女子大学				日本赤十字広島看護大学			
奨学金制度 S1奨学生	A	上位10%	減免●授業料の全額	AO・専願推薦入試合格者対象	A	5名	減免●学習奨励生E・IV生:授業料の半額	特待生制度	A	5名以内	減免●授業料の半額
奨学金制度 S2奨学生	A	上位20%	減免●授業料の半額	学習奨励チャレンジテスト	A	20名	減免●学習奨励生A・I生:授業料の全額	比治山大学			
資格奨学金制度	A/B	第1~4期 専願合格者	給付●入学金の全額または半額相当	学習奨励入試(一般前期入試)	A	20名	減免●学習奨励生A・II生:授業料の全額	スクラッシュ入学試験(一般選抜前期A日程)	A	各学科2名	減免●前期の授業料
総合型選抜奨学金	A	第1~4期 専願合格者	給付●入学金の全額相当	学習奨励チャレンジテスト	A	20名	減免●学習奨励生A・III生:授業料の全額	広島経済大学			
総合型選抜奨学金	A	上位50%	給付●入学金の全額相当	共通テスト利用型(前期)による	A	16名	減免●学習奨励生C・I生:授業料の全額	入学試験成績優秀者奨学生	A	313名	減免●授業料・施設費の全額または半額
一芸一能方式奨学金	A	各学科5名以内	給付●授業料の半額	「学習奨励生」選考	A	5名	減免●学習奨励生C・II生:授業料の全額	学校推薦型選抜(資格スクラッシュ)奨学生奨学金	A/B	18名	減免●授業料・施設費の全額または授業料の半額
女子エール方式奨学金	A	各学科5名以内	給付●授業料の半額	共通テスト利用型(前期)【得意教科重視型】による	A	5名	減免●学習奨励生F・III生:授業料の全額	広島工業大学			
宝塚大学				園田学園女子大学				広島国際大学			
スクラッシュチャレンジ制度	A/B	12名	減免●90万円または45万円	入試成績優秀者特待生制度	A	59名	減免●授業料の全額または半額	特待生入試制度(一般選抜前期B日程)	A	35名	減免●授業料と教育充実費の半額
入学前予約型奨学金制度	A		減免●特待生A:学費の全額	グローバル特待生制度	A/B	1名	減免●短期留学期の全額	総合型選抜【前期】における	A	10名	減免●授業料と教育充実費の半額
入試特待生制度	A		減免●特待生B:学費の半額	タレント特待生制度	A/B	1名	減免●授業料の全額	特待生選抜(学費支援型)	A	23名	減免●I型:授業料および教育充実費の全額
帝塚山学院大学				姫路大学				広島女学院大学			
入試成績優秀者特待生制度	A	55名	減免●授業料の全額または半額	看護師養成支援奨学金制度	A		減免●授業料の半額	指定校推薦入試	A/B		減免●授業料の全額(2年次以降は授業料20%減額)
常盤会学園大学				姫路獨協大学				広島文化学園大学			
総合型選抜合格者入学免除制度	A	50名	減免●入学金の全額	特待生制度	A		減免●授業料の全額または半額	スクラッシュ制度(専願)	A		減免●入学金のうち15万円および授業料の半額
学校推薦型選抜【指定校】公募	A	50名	減免●入学金の半額	HDUDチャレンジ入試(特待生認定入試)	A/B		減免●授業料の半額	公募制推薦入試	A		減免●入学金のうち15万円および授業料の半額
合格者入学金半額免除制度	A/B	上位30%以内	減免●学校推薦型選抜【指定校】公募受験者のうち希望者に国語能力テスト(無料)を行い、成績上位者の入学金をさらに半額免除	地域指定奨励生制度(薬学部)	A/B		減免●授業料の半額	スクラッシュ制度(専願・併願)	A		減免●授業料の全額(2年次以降は授業料20%減額)
入学金全額免除チャレンジ制度	A/B	上位30%以内	減免●入学金の全額	協賛医科大学連携奨励生制度(医療保健学部・薬学部)	A/B		減免●授業料の半額	特待生入試(専願)	A	各学科2名	減免●入学金のうち15万円および授業料の半額
遠隔地出身生入学免除制度				兵庫医科大学				広島女学院大学			
遠隔地出身生入学免除制度	A/B		減免●入学金の全額	遠隔地予約奨励生制度	A/B	50名	給付●48万円	大学入学共通テスト利用選抜	A	該当者全員	減免●授業料の全額
梅花女子大学				流通科学大学				福山大学			
一般S特待生	A		減免●入学金の全額および授業料の半額	プレゼンテーション入試奨学金	A	5名	減免●授業料の半額	特別奨学生A	A	285名	減免●年授業料の半額
大学入学共通テスト利用特待生	A		減免●授業料の半額	公募推薦入試(前期2科目型)奨学金	A	10名	減免●授業料の半額	特別奨学生B	A/B	190名	減免●授業料の40%(薬学部は30%)
指定校特待生	A		減免●入学金の全額	公募推薦入試(後期2科目型)奨学金	A	5名	減免●授業料の半額	特別奨学生C(経営・人間文化)	A/B	2名	減免●授業料の半額
羽衣国際大学				帝塚山大学				福山平成大学			
スクラッシュチャレンジ制度	A		減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	創立50周年記念特待生制度	A	50名	減免●授業料の半額	特別奨学生A	A	25名	減免●授業料の40%
資格特待生制度	A		減免●入学金の全額	天理大学			給付●授業料の半額相当	特別奨学生B	A/B	30名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%(看護は30%)
グローバルチャレンジプログラム	A		減免●入学金の全額および授業料の全額または半額	入学者選抜奨学金	A		給付●授業料の半額相当	特別奨学生C	A/B	2名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%
阪南大学				鳥取看護大学				安田女子大学			
入試成績優秀者(特待生)奨学金	A	200名	減免●授業料の全額または半額	奨学金 学業特待選抜	A		給付●授業料の全額または半額相当	薬学部特待生制度(薬学特待生)	A	20名	減免●授業料の全額
入試成績優秀者奨学金	A		減免●授業料の半額または1/4	かんとい☆とびたん地域活動奨励金	A/B		給付●その他●地域活動奨励金(10万円)	薬学部奨学金制度(薬学/スポーツ)	A	100名	減免●授業料を50万円に減免
指定資格取得者奨学金	A		給付●1資格につき10万円	岡山学院大学				宇部フロンティア大学			
東大阪大学				岡山商科大学				梅光学院大学			
修学支援奨学金	A/B	5名	給付●入学金相当	専願入試特待生	A		減免●A:授業料の半額 B:授業料の1/4	グロービススクラッシュ	A		給付●学費の1/3相当
桃山学院大学				岡山理科大学				山口学芸大学			
入学試験成績優秀者対象	A	70名	給付●授業料と施設費の全額または半額相当	入試特待生制度【AO/カラシップ制度】	A	200名	減免●年間授業料845,000円	エアラインスクラッシュ	A/B	3名	給付●学費の半額相当
特別奨学金制度	A		給付●授業料と施設費の全額または半額相当	四国獣医師養成奨学金制度	A/B	20名以内	貸与●100万円※条件を満たせば返還を免除	子ども未来スクラッシュ	A/B		給付●学費の1/3相当
地方奨学金	A/B	80名	給付●50万円	環太平洋大学			減免●授業料の全額または半額または20%	特定遠隔地奨学金	A		給付●学費の1/4相当
桃山学院教育大学				倉敷芸術科学大学				山陽学園大学			
入学試験成績優秀者対象特別奨学金	A	15名以内	給付●65万円	得意特化特待生制度	A/B	40名	減免●授業料の半額	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●学納金の全額または半額相当
森ノ宮医療大学				くらしき作陽大学				山陽学園大学			
入学時成績優秀者学納金減免制度	A	15名	減免●155万円	特待生制度(新入生対象)	A	若干名	減免●入学金や授業料の一部	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
戸屋大学				山陽学園大学				山陽学園大学			
学業・スポーツ・芸術文化特待生	A/B		減免●入学金の全額および学納金の全額	特別奨学生	A	入学定員の1割	減免●授業料の半額	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
大手前大学				天理大学				山陽学園大学			
入試特別奨学金制度	A		減免●授業料の全額または半額	入学者選抜奨学金	A		給付●授業料の半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
総合型選抜入試での入試特別奨学金制度	A	若干名	減免●授業料の全額または半額または1/4(総合型選抜)入学金の全額から2.5万円(授業料免除方式)	鳥取看護大学			給付●授業料の半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
特待生制度(英語・数学)	A		減免●授業料の全額	奨学金 学業特待選抜	A		給付●授業料の全額または半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
入試特別奨学金制度(健康栄養学部)	A		減免●授業料の全額または半額	かんとい☆とびたん地域活動奨励金	A/B		給付●その他●地域活動奨励金(10万円)	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
入試特別奨学金制度(国際看護学部)	A	1名	減免●授業料の半額または30%	岡山学院大学				山陽学園大学			
関西国際大学				天理大学				山陽学園大学			
KUISグローバル特別奨学生(一般選抜型 前期A9日程)	A	上位30名	減免●授業料の全額または半額	入学者選抜奨学金	A		給付●授業料の半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
KUISグローバル特別奨学生(大学入学共通テスト利用型 前期2教科方式3教科方式)	A	上位15名	減免●授業料の全額または半額	鳥取看護大学			給付●授業料の半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
北播磨総合医療センター奨学生	A/B	第一種2名 第二種1名	貸与●第一種:150万円 第二種:60万円 北播磨総合医療センターへの就業等の条件を満たした場合、全額返還免除	鳥取看護大学			給付●授業料の全額または半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
関西福祉大学				天理大学				山陽学園大学			
入学時成績優秀特待生制度	A		減免●授業料の半額	鳥取看護大学			給付●授業料の全額または半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
社会福祉特別選抜(福祉系科目履修者選抜方式)	A/B		減免●給付●入学金の半額を免除、福祉関連資格保有者には入学金の半額相当を支給	奨学金 学業特待選抜	A		給付●授業料の全額または半額相当	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
社会福祉特別選抜(福祉施設団体等推薦型方式、校友会推薦方式)	A		減免●入学金の全額	かんとい☆とびたん地域活動奨励金	A/B		給付●その他●地域活動奨励金(10万円)	特待生奨学金制度	A/B	若干名	給付●24万円または12万円
保育者養成特別選抜	A		減免●入学金の全額	岡山学院大学				山陽学園大学			
特色選抜「看護探究型」	A		減免●入学金の全額	特別奨学生	A	入学定員の1割	減免●授業料の半額	特別奨学生A	A	285名	減免●年授業料の半額
スポーツ吹奏楽特待生選抜(スポーツ特待生制度)	A	若干名	減免●特待生A:入学・学費の全額 特待生B:入学金の全額・学費の半額 特待生C:入学金の全額 特待生D:入学金の半額	総合型選抜優待生	A		減免●入学金の半額	特別奨学生B	A/B	190名	減免●授業料の40%(薬学部は30%)
関西学院大学				天理大学				山陽学園大学			
ラン/バスケ給付奨学金(給付制)	A/B	150名	給付●30万円~45万円 ※近畿圏外からの進学者に対しては初年度20万円を付加して支給	学校推薦型選抜(指定校)優待生	A		減免●入学金の半額	特別奨学生C(経営・人間文化)	A/B	2名	減免●授業料の半額
入学時プレゼン特奨学金(給付制)	A/B	15名	給付●30万円~45万円	高大接続連携校優待生	A		減免●入学金の全額	特別奨学生A	A	25名	減免●授業料の40%
高大接続奨励支給奨学金(給付制)	A	10名	給付●30万円~45万円	岡山商科大学				山陽学園大学			
甲子園大学				鳥取看護大学				山陽学園大学			
入学特別措置制度(特待生奨学金)	A		給付●入学金の全額、または授業料の全額または半額	奨学金 学業特待選抜	A		給付●授業料の全額または半額相当	特別奨学生B	A/B	30名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%(看護は30%)
甲南大学				鳥取看護大学				山陽学園大学			
甲南大学立野純三奨学金	A	4名	給付●50万円	かんとい☆とびたん地域活動奨励金	A/B		給付●その他●地域活動奨励金(10万円)	特別奨学生C	A/B	2名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%
甲南大学「わがくるま星」につなぐ」甲南の星奨学金	A/B	100名	給付●文系学部:100万円、理系学部:140万円 ※上記は入学後2年間の合計金額、1年あたりの給付額は、文系学部:50万円、理系学部:70万円	岡山理科大学				山陽学園大学			
甲南女子大学				くらしき作陽大学				山陽学園大学			
アカデミックチャレンジ奨学金	A	495名	減免●入学後2年間の学費(入学金を除く)を全額または半額または1/4	特待生制度(新入生対象)	A	若干名	減免●入学金や授業料の一部	特別奨学生A	A	285名	減免●年授業料の半額
神戸海星女子学院大学				山陽学園大学				山陽学園大学			
英検2級相当以上の資格取得者 授業料免除	A/B		減免●年間授業料の全額または春学期授業料の全額または半額	特別奨学生	A	入学定員の1割	減免●授業料の半額	特別奨学生B	A/B	190名	減免●授業料の40%(薬学部は30%)
大学入学共通テスト利用(1期)3科目型入試入学金一部免除	A/B		減免●入学金のうち10万円	総合型選抜優待生	A		減免●入学金の半額	特別奨学生C(経営・人間文化)	A/B	2名	減免●授業料の半額
入試成績優秀者奨学金(一般前期A・B、一般後期A・B)	A		給付●授業料及び施設設備費の全額相当	学校推薦型選抜(指定校)優待生	A		減免●入学金の半額	特別奨学生A	A	25名	減免●授業料の40%
入試成績優秀者奨学金(共通テスト利用(1期・1期Ⅱ・1期Ⅲ))	A		給付●授業料及び施設設備費の全額相当	高大接続連携校優待生	A		減免●入学金の全額	特別奨学生B	A/B	30名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%
入試成績優秀者奨学金(奨学金給付生試験)	A		給付●授業料及び施設設備費の半額相当	岡山商科大学				山陽学園大学			
神戸学院大学				山陽学園大学				山陽学園大学			
特待生制度	A	200名	減免●授業料と施設設備維持充実費の全額	専願入試特待生	A		減免●A:授業料の半額 B:授業料の1/4	特別奨学生B	A/B	30名	減免●入学金を除く学納金の半額15万円に減免することと、授業料の40%

四国・九州・沖縄地方の大学につきましては次号でのお知らせとなります。

私大連、自民党文部科学部会で、大学入学共通テストの1カ月前倒しなど意見



2021年8月24日、日本私立大学連盟の田中愛治会長(早稲田大学総長)は東京都内で開かれた自民党の文部科学部会に出席し、2022年度政府予算の概算要求や税制改正要望に向け、私立大学等経常費補助の拡充などの「予算・税制関係」と、大学入学共通テストの実施時期を1カ月前倒し(12月を目途)

するなどの「高等教育政策」の2つについて意見を述べた。

私大連によると、田中会長は「私大連の要望」と題した資料を自民党の文部科学部会に提出。「予算・税制関係」としては、私立大学等経常費補助の拡充に加え、DXなどの予算に対する支援、中間層(給与所得者841万円まで)への新たな国の恒久的支援、リカレント教育など社会人の受講費用等の所得控除拡大などを要望した。

「高等教育政策」としては、卒業要件にかかわるオンライン授業の修得単位数(60単位)の上限撤廃などの大学設置基準の見直し、私立大学の個性的な研究などへの支援強化、大学入学共通テスト実施時期の1カ月前倒しなどを要望している。

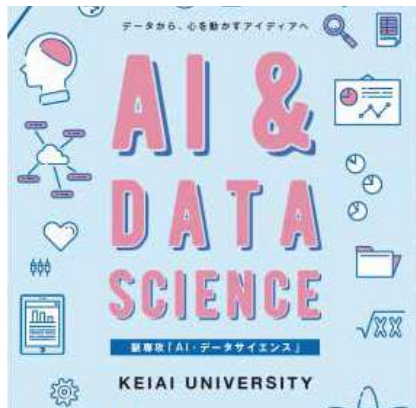
大学入学共通テストの前倒しに関しては、多様な資質・能力の評価が求められる中で、現在の「大学入学共通テスト」の日程では、同テストを活用した個別学力検査(一般選抜)等を実施することは事実上不可能であると訴えた。

この日の自民党の文部科学部会には日本私立大学協会、日本私立大学短期大学協会、日本私立中学高等学校連合会、日本私立小学校連合会、全日本幼稚園連合会も出席、それぞれの意見を陳述した。

2022年度政府予算の概算要求は文科省が5.9兆円、国土交通省が6.9兆円、厚生労働省が33.9兆円などとしており、今後財務省と協議を進める。税制改正は年末の自民党税制調査会での決定に向けて水面下の折衝が今後本格化する。

敬愛大学の副専攻、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定

敬愛大学の副専攻「AI・データサイエンス」は、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)に認定された。千葉県内の大学では初めて。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的に、数理・データサイエンス・

AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励する制度。2021年6月30日に発表された第1回認定では11校が選定された(国立大学2、私立大学5、高等専門学校4)。

そのひとつ、敬愛大学の副専攻「AI・データサイエンス」は、所属する学部学科のカリキュラムを学ぶ専攻に加え、もう1つの専門分野を学ぶことができる制度。修了要件を満たすと所定のプログラムを修めたことを大学が認証する「修了証明書」が授与される。全学部(経済学部、国際学部、教育学部)が対象で、今年で3年目となる。

入学前の学習経験を踏まえたカリキュラム・授業設計や、初学者向けのオリジナル動画教材「AI・DS(データサイエンス)へのいざない」の開発、大手IT企業との提携によるディープラーニングの活用事例の学習、学習管理システムによる学習支援、Q&A対応などが特色。履修者からは、他学生への推奨度84.9%、学部学科の専門性との相乗効果86.8%と高い評価を得ている。

敬愛大学では、文系・理系の素養を問わず、幅広い学習者が必要な知識・スキルを習得する副専攻として、さらに多くの履修者を集め、主専攻がますます楽しくなる学びを目指す。

「国際広告賞」大学生部門コンペで日本唯一の入賞 江戸川大学



江戸川大学のメディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科の学生4名が、毎年、韓国・釜山で開催される国際広告賞「ADSTARS(アドスターズ)」の大学生部門コンペ「YOUNG STARS AD COMPETITION 2021」で日本から唯一の入賞を果たした。

「ADSTARS」は、カンヌライオンズ(南仏)やスパイクスアジア(シンガポール)などとともに著名な国際広告コンペの一つで、各年の優秀な広告・PR・イベント企画などを表彰するコンクール。教育の観点から大学生を対象にしたコンペ「YOUNG STARS」を実施していることも大きな特徴だ。2021年度は新型コロナウイルスの影響によりオンラインによるコンペティションとなった。

今回の課題は「カーボンニュートラルを実現するためのキャンペーンアイデア」の立案。応募部門は、【FILM】【PRINT】【OUTDOOR】【ONLINE】【CREATIVE SOLUTION】【PLANNING PAPER】の5部門があり、企画はすべて英語で作成する。江戸川大学から参加したのは井上一郎ゼミナール(マーケティング・コミュニケーション研究)に所属する3年生4名(栗村真奈さん、辻賢斗さん、海老島陽菜さん、中野龍一さん)で、【PLANNING PAPER】部門に応募した。

井上ゼミの4名は調査結果から特に18~39歳というアクティブな層が、カーボンニュートラルに対する関心が低いことに注目。山手線の車両をまるごと広告列車にできるJR東日本のADTRAIN企画をベースに、このまま地球温暖化が進むと2100年の地球はどのようなのか、「水位の高さ」「絶滅危惧動物」「気温の高さ」の3つを体験、実感できるイベント列車「2100Train」の企画を作成した。

2021年度の実績は、全5部門の中から金賞、銀賞、銅賞、クリスタル賞(3作品)、スペシャル賞(5作品)の合計12作品が発表され、江戸川大学はスペシャル賞を受賞。日本からは唯一の入賞という快挙を成し遂げた。

昭和女子大学、豪州立クイーンズランド大学とダブルディグリー・プログラム開始

昭和女子大学国際学部は、オーストラリアの州立クイーンズランド大学(クイーンズランド州ブリスベン)の人文社会学部とダブルディグリー・プログラムを開始する。このプログラムに参加する学生は、昭和女子大学で3年、クイーンズランド大学で2年、計5年間学び、日本とオーストラリアの大学から2つの学位取得を目指す。



州立クイーンズランド大学は、1909年に設立されたクイーンズランド州最古の総合大学で、オーストラリアでトップ8大学の1校でもある名門大学。世界大学評価機関の英国クアクアレリ・シモンズ(Quacquarelli Symonds)が発表した世界大学ランキング2022では47位という高い評価を得ており、昭和女子大学とは2013年から協定を結んでいる。

ダブルディグリー・プログラムに参加するためには、「IELTS6.5以上またはTOEFL iBT87点以上、GPA2.8以上」という高い成績の基準を達成することが求められ、その後、学生はクイーンズランド大学人文社会学部の幅広い主専攻の中から2つ選択し、各16単位ずつ計32単位を現地で取得する。このプログラムに参加する学生には奨学金制度を用意し、チャレンジ意欲ある学生を全面的にサポートしていく。

昭和女子大学では、2014年度から「ダブルディグリー・プログラム」を開始しており、中国の国家重点大学である上海交通大学、韓国の淑明女子大学、ソウル女子大学、そして同じ敷地内にあるアメリカペンシルベニア州立大学ジャパンキャンパスが対象。現在、上海交通大学47人、ソウル女子大学10人、淑明女子大学2人、テンブル大学ジャパンキャンパス4人が参加している。

実践女子大学が東京サマーランドと「プールサイドで映える」限定メニュー開発



実践女子大学・実践女子大学短期大学部と株式会社東京サマーランドは、パフェとレモネードの夏季限定メニュー 2種類を共同開発。2021年 7月22日から東京サマーランドで販売している。

夏季限定メニューは、実践女子大学生生活科学部食生活科学科の中川裕子准教授のゼミナールに所属する学生と、東京サマーランドの女性社員によるプロジェクトチームが、オンラインでのプレゼンテーションや試食会を重ねながら、完成させたもの。

テーマを「夏のプールサイドで食べたい(飲みたい) インスタ映えするメニュー」とし、地元である東京都多摩地域の地産食材を使うとともに、「リゾート感」「華やかさ」「ヘルシー」などトレンドに敏感な女子大生の視点を活かしたメニューとなっている。

商品名は「アサイーパフェ～南国気分が味わえる～」と「Summer Lemonade(サマーレモネード)。「アサイーパフェ」は、ポリフェノールや鉄分が豊富なアサイーにビタミンB群や必須アミノ酸が豊富な米麹甘酒を甘味として加えた、ヘルシーを追求したパフェ。ココナッツとバナナ風味のホイップとグラノーラを重ね、フルーツが飾られている。料金は500円(税込)。

「Summer Lemonade(サマーレモネード)」は、夏らしいブルーのレモネードで、混ぜると色が変わる。地産のはちみつ(多摩のアカシアはちみつ)を使用したサッパリした甘味が特徴で、エディブルフラワーでリゾート感を演出している。料金は400円(税込)。

今回の産学連携について、中川准教授は「市場調査からレシピの提案、そして販売に至るまでのプロセスを様々な部署の方と関わりながら進められたことは、大変貴重な経験でした。また、東京サマーランドさまの地元産業の発展に貢献することや地域の活性化につながる活動を伺い、地域連携の重要性を身をもって学びました」とコメントした。

また、開発に携わった学生は来園者に向け、「小腹が空いたときや少し喉が渴いたなという時に、ワンハンドで飲食できるように作りました！食べて飲んで写真も撮って、サマーランドのひと夏の思い出としてご賞味ください！！」と「インスタ映え」する新メニューをPRした。

実践女子大学・実践女子大学短期大学部と株式会社東京サマーランドは、「東京サマーランドのオールシーズンにおける集客および売上の増加、顧客満足度向上に関する研究」が縁となり、その関係をさらに発展し、さまざまな分野においての連携や当社の教育・研究による社会貢献を促進することを目的として、2019年3月に包括的連携協定を締結した。

日本初、乳がん術後のQOL向上を支援する「使い捨て入浴着」を開発 畿央大学

畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科 村田浩子教授、小松智菜美助手、村田ゼミの学生らの研究グループは、乳がん術後女性が着用することにより、手術痕を気にすることなく入浴できる使い捨てタイプの入浴着を開発した。



家庭や社会で活躍する30歳後半から急激に増加するといわれている乳がん。近年、日本女性の11人に1人が乳がん罹患しているといわれるが、早期発見により約90%が治癒している。このことから、畿央大学は乳がん治癒後の健康改善、QOL向上を支援することを目

的に、日常の楽しみの一つである入浴に着目し、温浴施設等で着用できる入浴着を制作した。

本研究を行うにあたり、奈良県福祉医療部疾病対策課、文化・教育・くらし創造部消費・生活安全課の協力を得た。試作・着用テストに際しては奈良県内のがん拠点病院に通院する乳がん術後女性45名や110の入浴施設にアンケート調査などを行い、着脱がしやすく、お湯切れの良いデザインを実現した。

金沢大学と富山大学、共同教員養成課程(仮称)2022年4月に開設へ 卒業要件は2種類の教諭免許取得

金沢大学と富山大学は、小中高校などの教員の共同養成課程(仮称)を2022年4月に開設する予定だ。少子化による教員需要の減少を見据えて養成課程の効率的な運営を行い、それぞれの強みを生かして複雑化する教育現場の課題に対応できる教員を育成する。小・中一貫の義務教育学校の設置も増えていることから、小学校教員免許を基本として2種類の教諭免許の取得を卒業要件としている。

富山大学は教員養成課程がある人間発達科学部を教育学部に改組し、金沢大学の人間社会学域学校教育学類と共同で養成課程を設ける。入学定員は金沢大学、富山大学とも85名。富山大学は人間発達科学部の170名から85名と減少するが、他学部で入学定員を増やし、大学全体として入学定員に変化はない。

教員養成の連携を巡っては、2004年度に鳥取大学と島根大学が養成の学部を統合、2020年度に宇都宮大学と群馬大学が共同教育学部を設置しており、全国で3例目。2大学の共同教員養成課程としては、宇都宮大学と群馬大学に続き、全国で2例目となる。

芝浦工業大学、2022年度から100人以上の女子入学者に入学金相当の奨学金給付へ

2018年度より積極的な女子学生入学促進支援策を行ってきた芝浦工業大学は、施策の第3弾として、2022年度から2024年度入学者までの3年間、100名以上の学部女子学生に入学金相当の奨学金を給付すると発表した。

芝浦工業大学では「教育も研究も、ダイバーシティの中でこそイノベーションが生まれる」という考えのもと、2018年度入試より特に女子学生が少ない工学部機械電気系4学科の「公募制推薦入学者選抜(女子)」枠を設置。2022年度入試からはその枠を工学部全9学科へ拡大するなど、積極的に女子学生の入学促進支援を行っている。

今回は施策の第3弾として、大学全体で、学部的女子学生比率の向上に取り組む。日本における工学系学科の女子学生比率は15.6%(令和2年度 学校基本調査)と世界と比較しても低水準であり、現状、同大学の女子学生比率も18.7%となっている。これを創立100周年を迎える2027年までに30%以上に引き上げることを目標に、2022年度から3年間、奨学金を給付する。

奨学金は、2022年度学部入学者から100人を超える成績優秀な女子入学者へ、入学金相当(28万円)として給付するというもの。対象となるのは「公募制推薦入学者選抜(女子)」による入学者約30人と一般入試での成績優秀な入学者約100人で、どちらも合格発表時に奨学金給付対象者である旨を本人に通知する。



日本の大学・教育関連専門のニュースサイト

大学ジャーナル

UNIVERSITY JOURNAL

ONLINE

その他の詳しい大学関連ニュースは

大学ジャーナルオンライン

SEARCH



@univjournal



大学ジャーナルオンライン

東京都市大学の 新ファンクション(機能)プログラム
ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラムとは?

その3
授業紹介編

新しい教育への挑戦



文部科学省 令和2年度大学教育再生戦略推進費
「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択
6校のみ

本学・理工学部が提案した「ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く“ひらめき・こと・もの・ひと”づくりプログラム」は、文理融合型であること、学生主体の科目構成となっていることに特徴があります。4年にわたり学科を横断するPBL(Problem Based Learning)に取り組むことを通じ、これからの知識集約型社会で求められる発想力・実装力・実践力・判断力などを磨きます。専門の異なる学生と共同で課題に取り組むことで、自身の専門性の活かし方を学ぶと同時に、汎用性の高い様々な能力を獲得します。



PBL授業「ひらめきづくり(1)」

本紙が前2号に渡ってお伝えしてきた東京都市大学の最新機能カリキュラム。2021年度から理工学部の機械工学科・機械システム工学科・電気電子通信工学科で導入され、現在、計380名から選抜された117名が3学科を横断した探求型のプログラムに取り組んでいる(次年度からは理工学部全7学科のプログラムに拡大予定)。このプログラムは、従来型の、専門科目に主軸を置いた124単位カリキュラムに対して、多彩なPBL(Problem

Based Learning)科目を中心に配置し、専門科目についても複数の学科を横断して選択していく新しい124単位カリキュラムである(詳細は前号7月号Vol.143参照)。今号では、このプログラムにおいて特に独自性の高い科目「ひらめきづくり(1)~(5)」「ことづくり(1)~(5)」「ひとづくり(1)~(5)」のうち、このプログラムのマインドの基本となる「ひらめきづくり(1)」について紹介する。

Table with 2 columns: 科目概要 Course description, 授業の具体的な進め方 Classroom flow. Content includes course objectives and teaching methods.

Table with 3 columns: 回数, 内容, 授業の目的とゴールの共有. Detailed 14-week schedule for the course.

授業概要を上に紹介したが、その名の通り、「ひらめきづくり(1)」は新しいアイデアを創発することを目的に、最終的なプレゼンテーションでは新しい事業計画を「企画シート」にして、①ターゲット②コンセプト③問い④ひらめき⑤技術というストーリーでまとめていく【右上図】。単なるアイデアの発表ではなく、大学におけるアカデミックな授業とし

て展開していくため、探究の基本理論とともに計測や分析手法を学び、加えて現在の社会的課題やGAFAM(世界的に影響を持つGoogle、Amazon、Facebook、Apple、Microsoftの頭文字を取った呼び名)の躍進事例なども理解した上で、グループワークを進める。授業を担うのは、理工学部長でプロジェクト・リーダーの岩尾徹教授と、産業界から招聘し

企画シート グループNo.: 111
キャッチコピー: さらば、すべてのブレーキランプ。
Includes a diagram of a car with brake lights and a table of content for the business plan sheet.

た講師陣【下一覧参照】。ものづくりに必要なアイデアの創出やベンチャー育成、SDGsに関連する企業活動などについてのスペシャリストで、授業外の個別面談では学生一人ひとりの潜在能力を引き出そうと、きめ細かな教育に力を入れる。受講生からは、自由にアイデアの出し合える授業を歓迎する声に加えて、「ディスカッションのやり方やひらめきを生むのに基礎となる知識、アイデアを出すためのメソッドをたくさん学べて有意義だった」「社会の評価軸に触れられた」などの声も多く、科目の目標がしっかり実

現されていることがうかがえる。ここで構築されたマインドは、ものづくりの技術を支える理工系専門科目の選択においてだけでなく、後に展開される「ことづくり」「ひとづくり」の授業で、エネルギー問題、ポストコロナにおける産業界のDX、ゲームチェンジなど、近未来の予測を加えながら、より現実的な全体最適解を目指していくのにおおいに役立つはず。知的集約型社会を支える人材育成と、新しい大学教育のカリキュラムスタイルとして期待される新しいプログラムの姿が、いよいよ明らかになってきた。

Faculty profiles: 杉浦正吾, SUGIURA, SHOGO (Lecturer); 岸和幸, KISHIKAZUYUKI (Lecturer); 瀬戸久美子, KUMIKO SETO (Lecturer). Includes photos and detailed bios for each.

武蔵工業大学の伝統と研究力を受け継ぐ――

入試トピックス
○共通テスト利用入試(前期5教科基準点型)を全学科で導入
○英語外部試験の利用が可能に【一般選抜(前期・中期)】
○試験日自由選択制でチャンス拡大【一般選抜(前期)】
○特待生制度(授業料全額免除)、入学検定料の併願割引制度あり

1/6(木)より出願受付開始(インターネット受付のみ)
Table with columns: 入試方法, 出願締切, 試験日. Lists exam dates and application methods.

東京都市大学 TOKYO CITY UNIVERSITY
世田谷キャンパス 理工学部/建築都市デザイン学部/情報工学部(世田谷区・尾山台)
横浜キャンパス 環境学部/メディア情報学部(都筑区・中川)
等々力キャンパス 都市生活学部/人間科学部(世田谷区・等々力)
[お問い合わせ] 入試センター TEL.03-5707-0104(代)
都市大 検索 HP https://www.tcu.ac.jp

